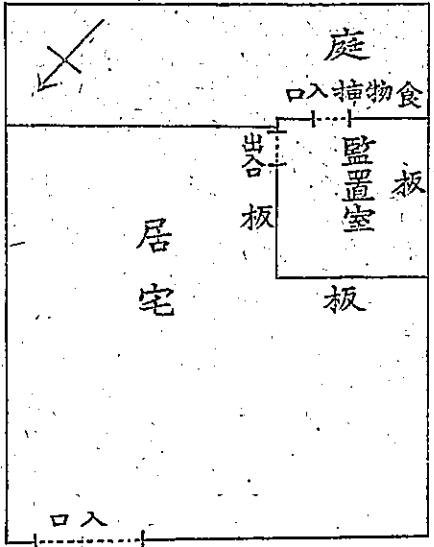
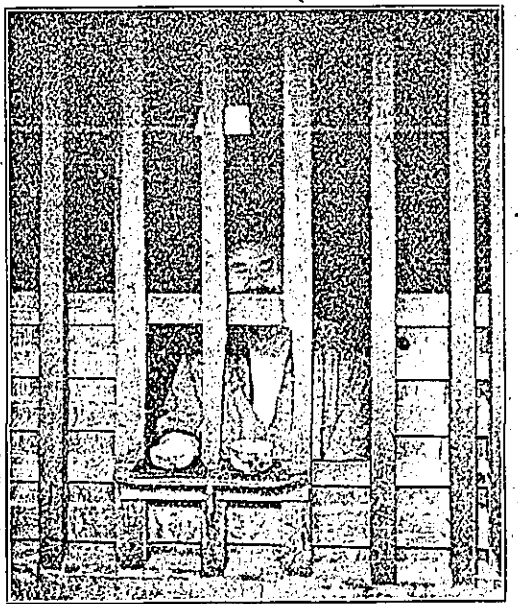


資産、中等。 監護義務者、實兄、井〇義〇。 診断、癲癩性精神病。 發病、幼年時ヨリナリ。 遺傳記、不明ナリ。 既往症、幼年ノ頃ヨリ所謂驚風症ニ罹リ、成長スルニ從ヒテ發作性ニ與奮シ家人及ビ他人ニ暴行ヲ加フ。發作ト發作トノ間歇時ニ於テハ靜肅ナリ。 監置ノ時日、明治三十七年二月十日。 監置ノ理由、家人及ビ他人ニ暴行ヲ加ヘシ爲メナリ。 監置室、自宅ノ奥ノ六疊内ニ作り庭ニ面ス。間口六尺、奥行九尺、牀下二尺ニシテ高さ九尺ナリ。三方ヲ板圍ヒトナシ、庭ニ面セル一方ハ二寸幅ノ杉材ニテ柵ヲ造リ、各角材ノ間隙ハ約五寸アリテ柵ノ下部約三尺ハ板圍ヒトナスモ、其中央部ニ於テハ三箇ノ間隙ニ相當スル廣サダケハ板張リヲ約一尺ニ低クシ食物ノ供給ニ便ニス、即、柵ノ間隙ニ相當スル幅ニテ五寸位ノ板ヲ室外ニ突き出シテ食卓ノ用ニ供ス。室内ニ二疊ニ疊ヲ敷ク。採光、換氣佳良ナリ。出入口ハ側面ニアリ。高四尺、幅三尺ノ扉ヲ作ル、室ノ二隅ニ排

(號二十二第) 圖附 例七十二第



(號一十二第) 眞寫 例七十二第



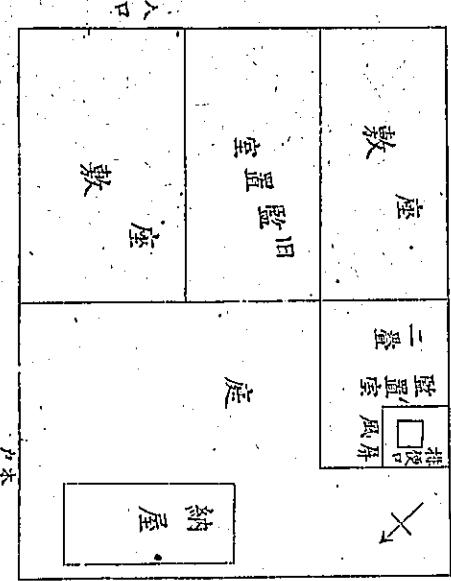
便口アリ。室内ニハ蒲團、蚊帳ノ設ケアリ。 被監置者ノ病狀、患者ハ榮養佳良ニシテ、垢染ミタル單衣ヲ著シ、家族ト通常ノ談話ヲ交ヘ靜穩ナリ。癲癩患者ノ特徵トモ見ルベキ現象トシテ患者ハ室内ニ於ケル食器、茶碗、茶匙等ヲ整然ト齊ヘ、又集積アリテ古新聞紙、木片等ヲ影多身邊ニ蒐集シ之モ亦順序能ク整理ス。患者ハ暑氣甚シキ日中ノコト、テ初メ肌掻キニテ在リシガ、寫眞ヲ撮ラント云ヒシニ直ニ著裝ヲ整ヘ、二箇ノ茶碗ヲ前記セル所謂食卓上ニ陳列シ、莞爾トシテ「レンズ中ノ人物トナレリ。 家人ノ待遇、尋常ナルモノ、如シ。沐浴ハ時々之ヲ行ヒ、食物ノ供給十分ナリ。 醫藥、醫師某時々診察ス。 警察官ノ視察、一箇月ニ數度ナリ。」

第二十八例

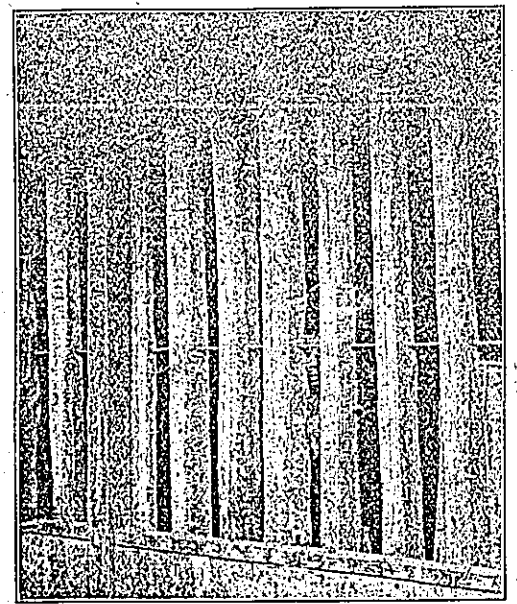
〇〇縣〇〇郡〇〇庄町大字〇〇庄村五十〇番地。平民、戸主、農。 飯〇雅〇。 明治十五年十月二十七日生。

資産、中等。 監護義務者、實母、飯〇マ〇。 診断、早發性癲癩。 發病、明治四十一年十二月二十六日。 遺傳記、不明。 既往症、生來神經質ニテ小事ニ願慮スルコト多カリシガ、大正二年實父ガ米相場ニテ失敗セン以來、室内ニ立チ籠リ憂鬱トナリ、漸次病勢ヲ増シテ色情的與奮及ビ暴行ヲ爲セリ。 監置廢止、明治四十三年七月十三日。 再發病、明治四十五年二月。 再監置ノ時日、大正三年十一月十九日。 監置ノ理由、色情性與奮、暴行。 監置室、明治四十二年申一度監置センコトアリシモ、其後殆ド全治シタルヲ以テ四十三年申中監置ヲ廢シタルガ、大正三年十一月再發セシヲ以テ第二回ノ監置ヲ施シタリ。初回ニハ座敷ノ一部ヲ仕切りテ監置室ヲ造リシガ、第二回ニハ座敷ノ一部ヲ改造シ、古材木ヲ集メテ監置室トナセリ。

(號三十二第) 圖附 例八十二第



(號二十二第) 眞寫 例八十二第



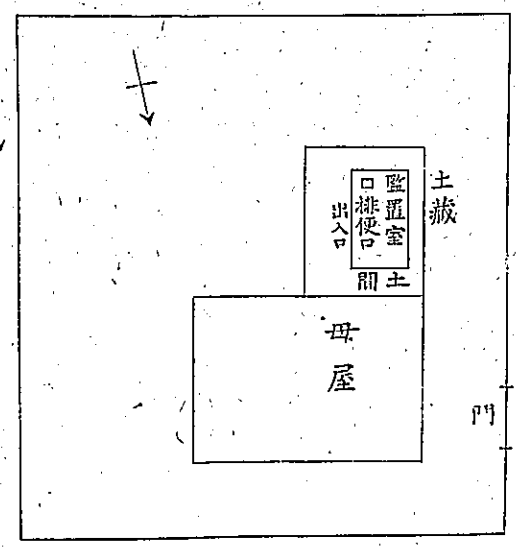
此室ハ一間ニ二間ノ廣サヲ有シ高さ一間アリ、牀下二尺アリ。三方ヲ板ニテ圍ヒ、庭ニ面スル一面ハ三寸角ノ杉材ニテ柵ヲ造リ、之ニ横ニ一條ノ鐵棒ヲ貫キ、下部ニハ高さ一尺五寸ノ腰板ヲ張ル。天井ハ三寸角杉材ノ格子ニ板ヲ張リタルモノナリ。食物挿入口アリ。室内ノ二疊ダケニ疊ヲ敷キ、他ハ凡テ板敷ニシテ其一部ニ排便口アリ其傍ニ屏風ヲ建テ廻ラシテ不淨所ヲ人目ニ觸レザラシムル注意ヲ爲セリ。出入口ハ三尺四方ノ大サニシテ之ニ錠ヲ掛ク。室内ニハ蒲團、蚊帳ノ備ヘアリ。煙草、煙管等ノ供給モアリタリ。 被監置者ノ病狀、榮養中等ニシテ、不潔ナル單衣及ビ帶ヲ不行儀ニ著ス。衣服ノ甚不潔ナル理由ヲ家人ニ訊スニ更衣ヲ肯セザルガ爲ナリト云フ。患者ハ茫然トシテ坐シ、指南方不其ナルモ、理解ハ比較的良シ。

家人ノ待遇、尋常ニシテ、食物ノ支給普通ナリ。沐浴ハ之ヲ行ハザルモ家人ハ時々手拭ニテ患者ノ身體ヲ拭ヒ又洗ヒヤルト云フ、運動ハコレヲ行ハズ、
醫藥、主治醫アンドモ目下ハ醫治ヲ受ケズ。 醫藥官ノ視察、一箇月ニ數回ナリ。

第二十九例

〇〇縣〇〇郡〇〇村大字〇〇村千〇百〇十三番地。農、宮〇久〇。 明治十五年六月十日生。
資産、下等ノ上部ニ位ス。 監護義務者、實父、宮〇久〇郎。 診斷、早發性癲癇。 發病、大正元年十二月十六日。 監護ノ時日、大正二年
七月十六日。 監護ノ理由、實母及ビ妻ヲ殺シシメ、遺棄、不明。 既往、教育ハ高等小學校卒業程度ニシテ、性質高慢ニシテ猜疑心、嫉妬
心深ク、明治四十五年六月ヨリ精神ニ異常ヲ呈シタルモ、其當時ハ危險ノ行動ヲ爲スコト無ク、唯大言壯語シ或ハ念佛ヲ稱ヘ偶々戶外徘徊ヲ爲スニ過ギザ
リシガ大正元年十二月頃ヨリ漸次病勢増進シ、妻ヲ殺シ、二人ノ情夫アリトノ嫉
妬妄想ヲ抱キ、或ル時、兇器ヲ携ヘ情夫ト思惟スルモノ、住宅ノ椽ノ下ニ潜伏シ
之ヲ要撃セントセシコトアリ。大正二年七月七日朝、妻ト口論シ未及ビ椽ヲ
以テ妻及ビ實母ヲ殺シ。兇行後ハ絶エズ南無阿彌陀佛ヲ稱シ或ハ淫猥ナル
言語ヲ弄シ或ハ情夫ノ一人ト妄信スル叔父ヲ殺害セントノ言語ヲ吐露ス。嘗テ
現疑ニ際シ理髮師ノ剃刀ヲ捲キ取り自殺セント企圖セシコトアリ。近來ノ精神
狀態ハ自ラ内閣總理大臣ナリト稱シ(誇大妄想)、或ハ家族ノ者ガ監置室内ノ阿
彌陀佛ノ軸、蚊帳等ヲ毀損シ或ハ就眠中發テ身體ニ塗抹スルモノアリ或ハ食物
中ニ毒ヲ混入シアリト云ヒ(被害妄想)家人及ビ他人ニ對シテ怒罵ヲ加ヘ叫喚シ
興奮狀態ニアリシガ、視察時ノ約三週間前ヨリ沈黙ニ傾キタリト云フ(家人ノ
陳述) 監置ノ場所、住宅裏手ニ在ル土藏中ニ監置室ヲ置ク。

(號四十二第) 圖附 例九十二第



以テ欄柵ヲ施シ、各材ノ間隙三寸アリテ横ニ二條ノ鐵棒ヲ貫ク。出入口ハ三尺四方ニシテ之ニ錠ヲ下ス。天井ハ削リタル杉板ヲ一面ニ張ル。排便口ハ牀
板ニ五寸ニ八寸ノ孔ヲ鑿チ、之ニ對シテ牀下ノ地上ニ便器ヲ置ク。牀上ニハ簾ヲ敷キ、ソノ上ニ二疊ダケハ更ニ薄ベリヲ敷ク、室ノ一隅ニ阿彌陀佛ノ繪
像ヲ懸ケ白紙ヲ以テ之ヲ被フ。室内ニハ蚊帳・蒲團ノ備ヘアリ。珠數、あるみにうむ、洗面盤・土鍋・各一個・碗二個アリ、一個ノ茶碗中ニハ梅干ノ殘核
數個ヲ見ル。食物ハ食物差入口ヨリ挿入ス。室内ハ薄暗ク通風亦良好ナラザレドモ、監置室ハ土藏内ニアルコト、テ土藏ノ扉ヲ開放スレバ比較的清凉ナ
リ。然シ午後四時視察ニ際シ華氏八十八度ヲ算ス。 被監置者ノ病狀、榮養中等ニシテ炎熱中ニモ拘ラズ拾ヲ著、帶ヲ締メ、而カモ陰部ヲ露出シテ蒲

團上ニ横臥ス。頭髪、鬚母ヲ五分刈トナス。患者ニ來意ヲ通ズルニ横臥セル儘ニテ背ヲ向ケ願防ヲ與ヘズ、怒聲荒々シク「診テ貰フ必要ハナイ御前ハ誰
ダ、名前ヲ云ヘ」と叫ブ。乃チ名刺ヲ差出スニ漸クニシテ此方ヲ顧ミ家人ニ命ズルニ繪像ヲ被覆ヲ除去セントコトヲ以テス。家人之ヲ脱去セントスルニ却テ
之ヲ叱咤排斥シ、自ラ街角的舉動ヲ示シ、之ヲ取り去リ給係ノ前ニ平伏シテ禮拜シ。然ル後視察者ニ向ヒ、貴方ハ長カク内閣總理大臣デアラウ、今迄ハ
不敬ノ言葉ヲ使ツタカモ知レナイト云ヒツ、立チ上リテ拳手ノ敬禮ヲ行ヒ、其後端坐シテ室ノ一隅ヲ睥睨シテ無言ナリ。
家人ノ待遇、尋常ニシテ、沐浴ハ二箇月ニ一度位ノ割合ナリ、更衣・洗濯ノ不十分ナルハ遺憾ナリ。室内ノ掃除モ時々之ヲ行フニ過ギズ。運動ニ連レ出ス
コトナシ。 醫藥、之ヲ受ケズ、主治醫ナシ。 醫藥官ノ視察、一箇月ニ二、三度ナリ。

第三十例

〇〇縣〇〇市〇〇島〇町。〇藤〇次〇。 明治七年十一月四日生。
職業、元〇〇市役所書記。 監護義務者、兄。 資産及ビ生活程度、被監置者ハ資産ナキモ、監護義務者〇藤〇吉ハ自宅家屋二十六坪此價格千圓ト
他ニ現金貳參百圓ヲ貯蓄シ、一家三名暮シニシテ飲食店ヲ營ミ、一日ノ收入七、八十錢アリ、之ニ由リ生活セリ。 監護ノ時日、明治三十三年八月十
六日。 監護ノ理由、暴行ヲ爲セシニ由ル。 現在ノ病狀、時々沈靜シテ穩和ナルモノ、如キ觀アルモ、忽ニシテ興奮シ、獨語・舞蹈ス。 監置
場所ノ模様、位置ハ物置ノ一隅ヲ改造シテ之ニ充テ、間口一間・奥行一間・高サ牀上ヨリ天非迄六尺八寸。構造ハ格子造リニテ之ニ用ヒタル杉丸太ハ磨キ
アルモ粗末ナルモノナリ。牀ハ板張ニシテ強ク敷ケリ。採光・換氣ハ著シク不都合トハ認めザルモ十分ナラズ、殊ニ採光不十分ナリ、便所ハ監置室ヨリ
通シ得ル構造ト爲シ、幅二尺・長サ三尺ノ便所ニシテ監置室ニ接近ス。洗面所ノ設備ナシ。 家人ノ待遇、十年間モ監置者ヲ爲スモノナレバ、母被
監置者ノ死ヲ望ムモノ、如クナルモ、別ニ虐待ノ行爲ナシ。三度ノ食事ハ家人ト同様ノ物ヲ與ヘ居レリ。大小便ハ自ラ便所ニ通フヲ以テ介補ヲ要セズ。
屋外運動ナク、室内ノ掃除ハ一日若クハ二日毎ニ之ヲ爲シ、衣服ノ供給及ビ洗濯ハ患者ニ破衣ノ癖アルヲ以テ其身體ニ纏フモノアラザルニ至リタルトキ
更ニ之ヲ供給スト云フ。沐浴ハ一週二回ヲ常トス。 醫藥、發病當時ハ醫師某ヲ聘シテ診治ヲ托シ、一週一回若クハ二回服藥シ居リタルモ、其後不治
ノ病ト診斷セラレシニヨリ、絶エテ服藥セズ。 醫藥官ノ視察、毎月巡査部長以上一回、巡査二回トス。

第三十一例

〇〇縣〇〇市〇〇町。保〇イ〇。 明治四年正月三日生。
職業、無職。 監護義務者、妹。 資産及ビ生活ノ程度、被監置者モ監護義務者空〇町坂〇〇〇モ資産ナシ。の〇ハ二人ノ幼兒ヲ擁スル寡婦ニシテ
日原稼ヲ以テ細キ煙ヲ立テ漸ク貧兒ノ居ル有様ナルヲ以テ、實際ニ於テ被監置者ハ櫻〇町坂〇友〇〇〇ノ實母ノ嫁シ居ル家ノ厄介トナリ居ルモ、此者
モ資産ナクシテ他人ノ知ノ小作ヲナシ漸ク一家五名ヲ飼シ居ルヲ以テ、他ノ親族ノ補助ヲ受ケテ看護シ居ルナリ。 監護ノ時日、明治四十年七月二十
七日。 監護ノ理由、暴行ヲ爲スノミナラズ、風俗ヲ擾亂セシニ由ル。 現在ノ病狀、大聲ヲ發シ、常ニ親族、他人ヲ罵詈ス。 監護場所ノ模様、

位置ハ物置場ノ一方ヲ改造シテ之ニ充テ、開口一間三尺高サ牀上ヨリ天井迄七尺。構造ハ杉丸太ニテ格子作りトシ、粗末ナルモノナリ。牀ハ板張ニシテ其上ニ一枚ノ疊ヲ敷ク。採光・換氣ハ稍可ナリ。監置室内ノ一隅ニ便所アリ、洗面所ノ設備ナシ。家人ノ待遇、虐待スル如キコトナキモ、毒、被監置者ノ死スニ若カザルガ如キ觀念アルヤニ見受ケラル。食事ハ家人同様ノ物ヲ攝ラシメ居レリ。自ら排便スルヲ以テ之ガ介種ヲ要セズ。嵐外運動ナク、室内ノ掃除ハ危險ノ爲メ容易ニ室内ニ入ルコト能ハザルヲ以テ、三日若クハ四日位ニ爲セリ。衣服ノ供給及ビ洗濯ハ大略一箇月毎ニ之ヲ行ヒ、夏期十日位ニ之ヲ行フ。沐浴ハ患者沈静ナル時ヲ見計ヒ一週一度之ヲ爲スヲ常トス。醫藥、發病當時ハ醫師某ヲ聘シテ診察ヲ乞ヒ一週一日以上服藥シ居リシモ、患者ハ服藥ヲ欲セズ、又實力モ續カザルニヨリ、視察時ニハ治療ヲ受ケ居ラズ。警察官ノ視察、毎月巡査部長以上一回、巡査二回トス。

第三十二例

〇〇縣〇〇市〇町。〇〇藏。 明治八年四月十六日生。

職業、乾物商。 監護義務者、妻。 資産及ビ生活程度、被監置者ノ資産ハ家屋・倉庫等六十坪餘ヲ有シ此時價銀千圓、他ニ山林六反、此時價銀三百圓位ナリ。而シテ家屋ハ他人ニ貸與シ一箇月收入十八圓アリ。又他ニ背物市場ノ收入一箇月三圓アリ。家族ハ十五歳ノ長男ヲ初メトシ子供四人アリ。此他ニハ別ニ收入ナシト雖、可ナリノ生計ヲ立ツ。監護義務者妻〇〇マハ資産ヲ有セズ。 監置ノ時日、明治四十年八月二十六日。 監置ノ理由、暴行ヲ爲シ、又ハ行衛不明明トナリシコトアルニ由ル。 現在ノ病狀、大聲放歌シ又ハ舞踏シ、非常ニ騷擾ス。 監置場所ノ模様、土藏ノ一隅ヲ改造シテ之ニ充テ廣サハ開口一間・奥行九尺・高サ牀上ヨリ天井ニ至ルマテ七尺八寸。構造ハ杉丸太磨ヲ用ヒ稍可ナリ。牀ハ板張ニシテ疊ヲ敷ケルモ、疊ハ患者ガ常ニ之ヲ破損スルヲ以テ粗末ナリ。採光・換氣ノ如何ヲ見ルニ、採光稍不十分ノ觀アルモ其他ハ適當ト認ム。家人ノ待遇、能フ限りノ待遇ヲ盡シ懇切ニ看護スルガ如シ。食物モ家人同様ノ物ヲ給スルヲ常トシ又患者ノ嗜好物ヲ攝ラシメ且ツ間食トシテ毎日菓子・果物ヲ供給ス。大小便ハ患者自ラ之ヲ便ズ。屋外運動ナシ。室内ノ掃除ハ沈静ニ歸スル時ヲ待チテ之ヲ爲シ多クハ二日若クハ三日毎ニ之ヲナスノミナリ。衣服ハ患者常ニ之ヲ破棄スルガ故ニ之ノ供給及ビ洗濯ハ衣服ノ破レテ身體ヲ細クニ足ラザルトキニ至リ之ヲ常トス。患者ノ沐浴ハ一週一回ヲ常トスルモ時ニ依テ之ヲ超過スルコトアリ。本人ハ沐浴ヲ肯セズ、強ヒテ之ヲ勸ムレバ危險ノ行爲ヲナス。 醫藥、本人ハ明治三十六年十二月末日大阪精神病院ニ入院シ、四十年八月迄居リシモ、同院ニテ不治ノ病ト診斷セラレタルヲ以テ自宅ニ運レ歸リ、當所ニテ監置以來、醫師某主治醫トナリ居ルモ、本病ニ對シテハ投藥セザルヲ以テ、他病ヲ併發セザレバ來診ヲ求メタルコトナシ。 警察官ノ視察、巡査部長以上毎月一回、巡査毎月二回トス。

第三十三例

〇〇縣〇〇市〇町〇四〇。博〇〇太郎。 明治十三年十二月八日生。

職業、無職。 監護義務者、父。 資産及ビ生活程度、監護義務者ノ資産ハ動産五十圓位、預貯約二百圓アリ。被監置者〇太郎ハ無資産ニシテ、生活困難ナリ。 監置ノ時日、明治四十三年五月十一日。 監置ノ理由、手當り次第ニ器物ヲ破壊シ、家族ニ口論ヲ持掛ケ、外出シテ他家ノ留守宅ニ忍ビ入りテ騒動シ、時トシテハ無斷ニ他人ノ物品ヲ持チ出セシコトアリ、又糞リニ火氣ヲ弄シ危險ノ行爲アリシコト屢々ナルヲ以テ監置ノ必要ヲ認メタリ。 現在ノ病狀、靜カナル方ナルモ、時々亂暴スルコトアリ。 監置場所ノ模様、前同監置室トシテ建設シアリタルモノヲ修葺シテ用ヒタルモノニシテ、今回新築ノモノニアラズ。本宅ヨリ二三間ヲ離レタル小屋建一室ニテ、廣サハ開口六尺・奥行六尺・高サ六尺五寸。構造ハ丸太格子作りニシテ、周圍ニ内部ヨリ板ヲ張り、牀ハ板張ニシテ薄絲ヲ敷キ、室ノ西側下部左側ニ出入口ヲ設ケ常ニ錠ヲ施シ、入浴其他必要ノ場合ニ之ヲ開放ス。又其右側ヲ格子作りト爲シ食物ノ出入ニ便ニス。採光・換氣ハ良好ナリ。便所ノ設備アリテ二日位ニ他ニ運搬除去ス。洗面所ノ設備ナシ。家人ノ待遇、他例ニ微スルモ特別ニ不良ノ取扱ヲナスモノト認メラズ、食事ハ米飯一日三度、一日ノ量六合位ナリ。大小便ハ患者自ラ始末スルヲ以テ介種ヲ要セズ。戶外運動ヲナサレドモ室内ニテ毎日適當ノ運動ヲ自ラ爲ス。室内ノ掃除ハ毎日自ラ之ヲ爲ス。衣服ノ供給及ビ洗濯ハ汚染シタルトキハ實母之ヲ洗濯シ又之ヲ供給シ、履具等モ亦之ヲ給與ス。沐浴ハ三日目位ニ運レ出シテ之ヲ爲サシム。 醫藥、醫師某アルモ近來之ニ診察ヲ請フコトナシ、病者ハ服藥セズ。 警察官ノ視察、警察官ハ二週二回位視察ス。

第三十四例

〇〇縣〇〇郡宮〇村。〇川〇市。 明治十年九月三日生。

職業、農。 監護義務者、父。 資産及ビ生活程度、病者ハ無資産ニシテ、義務者モ亦資産ナシ、家族ハ五六百圓ノ資産ヲ有シ、生計困難ナラズ。 監置ノ時日、明治三十五年八月十日。 監置ノ理由、米國出稼中同地ニ於テ發病シ暴行ヲ爲シ、爲ニ運送セラレタルモノナリ。 病狀、大聲放歌ヲ爲ス。 監置ノ場所、納屋内。 監置室、廣サハ幅一間半長サ一間半・高サ六尺二寸。構造ハ丸木格子造ニシテ、牀ハ板ヲ敷キ、敷物ナシト雖、構造良好ナリ。採光・換氣ハ良好シ。便所ハ監置室内ニ設備シアルモ洗面所ナシ。家人ノ待遇、良キ方ニシテ、三度ノ食事モ普通ノ食物ヲ與ヘ、又時々間食トシテ煎豆等ヲ與フ。大小便ハ患者自ラ之ヲ辨ズルモ時トシテ室内ニ爲スコトモアリ。屋外運動ナシ。室内ノ掃除ハ時々之ヲ爲ス。衣類及履具ハ之ヲ供給スルモ患者ハ二三日ニシテ直ニ之ヲ引キ破ル。又寒キ時ニハ著衣ノ他ニ毛布ヲ與フルモ是亦二三日間ニ引キ破リ了ル。沐浴ハ夏期ハ一箇月五六度ノ沐浴ヲ爲スモ他時ニハ之ヲ行ハズ。 醫藥、目下醫師診察セズ。 警察官ノ視察、一箇月一回警察官臨檢ス。

第三十五例

〇〇縣〇〇郡觀〇村。土〇嘉〇郎。 明治五年八月二十六日生。

職業、農。 監護義務者、實父。 資産及ビ生活程度、義務者ノ資産二千三百圓位アリテ生計裕ナリ。 監置ノ時日、明治三十七年五月六日。 監置ノ理由、暴行。 病狀、大聲放歌シ或ハ亂暴ヲナス。 監置ノ場所、居宅別建物内。 監置室、廣サハ開口一間半・奥行一間・高サ九尺、構造ハ丸木格子造リニシテ、周圍ハ粗製ノ松板、牀ハ板ナリ。採光・換氣ハ良好ニシテ、便所ノ設備アレドモ、洗面所ノ備ヘナシ。家人ノ待遇、良ニシ

テ、大小便ノ介補ハ義務者ニ於テ時々之ヲ行フ。三度ノ食事ハ常ニ米食又ハ麥飯ナリ。屋外運動ナシ。室内掃除ハ時々之ヲ行フモ不行届ナル方ナリ。衣類ヲ供給シアレドモ、患者ハ之ヲ著用セズ。患者ノ沐浴ハ兄弟三人集マリテ一箇月二回位之ヲ爲サシム。醫師ノ診察、診察ヲ受ケズ。警察官ノ視察、一箇月一回警察官臨檢ス。

丙 不良ナルモノ

第三十六例

〇〇縣〇〇郡〇〇村。種職。〇木〇太郎。文久元年生(五十歳)
資産、赤貧。監置室、納穀小屋ノ一部分ニ一間ニ九尺ノ室ヲ造リ、二方ハ土壁、二方ハ土葺ノ角材ヲ密ニ列ベ、内ヨリ板ヲ張ル。前方僅ニ板ノナキ部分ト後方上部ト各一小窓アリ、然シ室内ハ日中尙ホ開照ニシテ外部ヨリ室内ノ物ヲ見ルコト能ハズ、牀低ク殆ド地ニ接シテ、室内ハ濕潤シ、又換氣大ニ不良ナリ。家人ノ待遇、室内ニハ熱ナク、筵ナク、垢脂ニ汚レ果テタル薄蒲團一枚ト藪屑トアリ。食物ハ患者赤貧ナルガ爲メ、粗悪ナルモノ、如シ。被監置者ハ二年以來沐浴ヲナシタルコト僅カニ一回ニシテ、室内ノ掃除亦行ハレズ。病狀、糞仕事ノ作業ニ従事ス。犯罪ノ危険行爲ナキモ濫買アリ、外出徘徊シ、他人ヲ嚇スコトアリ、前記ノ如ク入浴セザルヲ以テ垢面ニシテ頭蓬々タリ。家族、患者ノ兩親七十餘歳ノ老軀ヲ以テ一家ヲ支持シ、患者ト患者ノ子七人トヲ養ヒツ、アリ。祈願、藥品ヲ用ヒズ、辨財天ノ信心ヲナス、〇〇郡〇〇村〇〇戸ノ第六天ニ月參リノ祈願ヲナスコト年餘前ニ其祈願ノ標ノ面ノ額ヲ掲ゲタリ、神棚ニハ不倒翁ノ形ニ作リタル玩具ノ狐數個ヲ並べ、鴨居ニハ咒符十餘種ヲ貼レリ。

第三十七例

〇〇縣〇〇郡〇〇村。農。〇澤〇ラ(四十七歳)
前例〇木〇太郎ノ妹ニシテ資産ハ下等ナリ。
監置室、納穀小屋ノ一部ヲ利用セルモノニシテ、二方ハ破壁、二方ハ格子造リナリ。牀ニハ汚キ筵ヲ敷キ破壁一枚アルノミニテ惡臭烈シク牀又甚低ク濕潤セリ。家人ノ待遇、既往、病婦ハ〇澤ニ嫁シテ二子ヲ舉ゲ、夫ハ其頃無賴漢ノ生活ヲ送り、賭博ヲ好ミ、牛馬ノ仲買ヲ爲シ、著實ナル正業ニ就カズ、家計豊カナラザルニ妾ヲ蓄ヘ、家庭ノ風波絶エズ。カクテ本患者ガ罹病ノ初メニ少シク狂暴ナルヤ、家人ト患者トハ互ニ暴ニ暴ヲ以テ停止スル所ヲ知ラズ、初メ患者ノ夫ト妾ト夫ノ弟ト相集マリテ、患者ヲ蒲團藪屑トナスコト大凡五日間許リ、次テ妊娠中ノ病婦ヲ裸體トナシテ長サ二尺一寸七分ノ鐵鎖ヲ以テ腹部ヲ緊シク縛リ錠ニテ留メ、更ニ後方ニテ鐵鎖ニ錠ヲカケ、之ヨリ他ノ鐵鎖ヲ以テ柱ニ繋ギ、以テ病婦ヲ毆打懲戒シタリ(家人ノ陳述ニヨレバ、病婦ハ初メ腹部ノ鐵鎖ヲスラ切斷セリト云フ、視察當時ニモ尙其癡癡ヲ殘シ居タリ)、十二日間此ノ如ク鎖縛ヲ施シ、後テ監置室

室ニ移セリト云フ(視察者ハ參考ノ爲メ此鐵鎖ヲ持チ歸レリ)。現在、家人ノ患者ニ食物ヲ與フルニハ、格子戸ノ前ニ木ノ株ヲ垂トシタル上ニ陶器ノ鉢ヲ置キ、之ニ三回ノ食事ヲ移シテ與フレバ、病婦ハ室内ヨリ椀ヲ以テ汲ミトリテ食ス(田舎ニテ牛馬ニ飼料ヲ與フル方法ト全ク同ジ)食物ハ質ト量ト共ニ不十分ナリ。病婦ニハ實子(男)二人アルモ、カ、ル家庭ナレバ温情甚少シ。室内ノ掃除ハ病婦自ラナスモ、沐浴ハ一箇年間僅カニ一回或ハ二回ノミナリ。
被監置者ノ病狀、病婦ハ大聲ニ家人ヲ罵リ、家人亦病者ヲ嘲罵シ、冷遇至ラザルナシ。醫藥、之ナシ。

第三十八例

〇〇縣〇〇郡〇〇村〇九九〇六番地、農。矢〇〇郎(衛門。二十四歳)
資産、下等。監置ノ時日、明治四十三年二月。監置室、別ニ一棟ノ小屋ヲ作ル。室ノ廣サハ二間ニ二間半ニシテ、三方ハ板圍ヒニシテ、其上部ヲ少シク開放シ、前面ハ格子造リトナセリ。牀ノ高サ一尺四五寸アリ。牀ノ上ニ藪ヲ敷キ筵ヲ置ク。便所ハ牀ニ孔ヲ穿テタルモノナリ。家人ノ待遇、患者ハ一回モ沐浴ヲナシタルコトナシ。衣服・寢具等ヨリ發スル惡臭甚シ。被監置者ノ病狀、患者ハ發汗非常ニ烈シク、皮膚常ニ濕潤ス(恰モバセドウ氏病患者ノ皮膚ヲ見ルガ如シ)。堅ク纏ラレテ腹際シタル所ノ皮膚ハ剝離シテ化膿シ、爲メニ視察時ニモ猶前胸・腕部ノ拇指側(橈骨側)ニ各二錢銅貨大ノ癩癩ヲ見ル。尙其他身體證狀ニハ全顔形及ビ顔面骨格ノ異狀著明ニシテ、頤ノ尖端小ニシテ兩側ノ下顎骨角非常ニ左右ニ張り出テ、額骨モ亦左右ニ張り、シカモ前額骨ハ非常ニ幅狭ク、耳殼ハ畸形ヲ呈シ把柄耳タリ。又四肢ノ震顫著明ナリ。脈搏ハ小ニシテ頻數ナリ。顔面骨格ハ下顎骨角ニテ計リタル横徑・最大ニシテ、左右ノ額骨ニテ計リタルモノハ之ニ次グ。病初ニハ怔忡・苦悶アリシト云フ。醫藥、之ヲ受ケズ。

第三十九例

〇〇縣〇〇郡〇〇村〇〇尾。農。清〇清〇(三十二歳)
資産、中流ノ下。發病、十四歳ノ時。監置ノ時日、明治四十四年一月。監置室、納穀小屋ノ一部ヲ用フ。牀ハ比較的高ク、通風・採光亦佳良ナリ。是レ家人ガ室ノ建設ニ際シテ衛生學的ニ調査セルニアラズシテ、家康ノ便宜上カ、ル室ヲ作ルニ至レルナリ。牀ニ筵ヲ敷クノミニテ其他ニハ熱・蒲團・蚊帳等ナシ。家人ノ待遇、入室以來未ダ一回モ沐浴セシコトナシ、室内ノ掃除ヲナシタルコトナシ。便所ハ牀ニ孔ヲ穿テリ。食物ハ餘リ不足スル程ニハアラザレドモ、中流以上ノ資産アリシモノガ、患者ノ看護・醫藥・禁脈等ニ其大半ヲ消費シ盡シ、視察當時ニ於テ十分ノ手當トハ謂ハレザルガ如シ。醫藥・民間藥・迷信、家族ハ病初ニハ醫藥ニ手ヲ盡シ、入院セシメタルコトアリ。其他、(イ)初メ狐憑トシテ患者ニ知ラシメズニテ突然後方ヨリ太刀ノ峯打ヲ試ミタルコトアリ。後ニハ又脊ノ脊ヲ以テ腰ニ數撃ヲ加ヘタルコトアリ(實父之ヲ行ヒタリ)。(ロ)藥種屋ニテ「センダンコウジ」(穿山甲ノ誤カ)ト云フ粉藥ヲ買ヒテ飲マセシコトアリ。(ハ)若荷ノ古根ヲ大根脚ニテスリテ飲マシタレドモ、何程ニテモ平氣ニテ飲ミタリ。

(二)巫女ノ言ニ依レバ、墓地ニ在ル椿ニ似タル木ノ葉ヲ頂ツテ飲マシムレバ治癒スト云フ。斯ル木ヲ搜索セシモ、未ダ之ヲ發見セズト云フ。(ホ)三ツ峯神社ニ件ヒテ參籠セシメタルニ、家ニ歸リテヨリ後ハ、患者ハ自ら藪ニ隠レテ樹枝・藪屑等ヲ集メテ、一見野獸ノ巢ヲ想像セシムルガ如キモノヲ作リテ入り込ミ、家人モ亦暫クノ間ハ其儘ニナシ置キタリ。(一)五月ノ節句ニ菅蒲ト草餅トヲ食ハンメタルモ少シモ效ナカリキ。(ト)三ツ峯神社ノ一年間御利益アル御札(奉納金ノ多寡ニヨリテ御利益ノ有效期間ニ長短アル御分體出ツ)ヲ招請シテ屋後ノ二小祠ニ祀リ、毎年一回宛新シキモノヲ受ケ來ル。

第四十例

〇〇縣〇〇郡〇〇町〇〇字野〇〇二番地。農兼植木職、柳〇〇。四十三歳。

資産、中等。監置室、新小屋ノ一部ニ作ル。二方ハ土壁ニシテ、杉ノ丸太ヲ二寸隔キ位ニ密ニ打ち並ベタリ。サレバ室内ハ非常ニ暗クシテ陰濕ナリ。牀亦低ク殊ニ室ニ相當スル所ダケハ地面ヲ掘リ下ゲタリ。室内ニ便所ヲ作ル。家人ノ待遇、室内ニハ汚キ疊アリ。蚊蚋・蒲團等ヲ給與ス。監置ノ初メニハ非常ニ小ナル室ニ入レテ僅カニ身ヲ容ル、ダケトナシタレバ被監置者ハ室内ニ直立スルコトヲ得ズ、且ツ室内ニハ僅カニ疊一枚ヲ敷ケルノミナリシガ警察署ヨリノ注意ニヨリ現今ノ有様ニ改メタリ。被監置者ノ病狀、監置ノ初メ室ノ内面ヨリ釘ヲ打ちタルニ、大工スラ拔キ難キ釘一本ヲ抜キ取リテ周圍大凡ソ七寸位ノ杉ノ丸太一本ヲ切斷シテ見事脱室シタリト云フ。

第四十一例

〇〇縣〇〇郡〇〇村〇〇字東〇。農。島〇字〇。五十二歳。

資産、中等。監置室、納穀小屋ノ南端ニ庇ヲ懸ケ添ヘテ之ヲ作ル。便所ハ室内ニアリテ別ニ戸前付ノ厠室ヲ作ル。疊ハアレドモ汚レシメテ、衣服亦膩垢ニ塗レテ泥土ヲ塗リタルガ如シ。採光ト防塵トハ真ケレドモ、悪臭甚シ。家人ノ待遇、室内ニハ書籍等ヲ入レ與ヘタリ。祈禱、病初ニハ狐忍トシテ大ニ其拔攘ニ努メテ盛ニ祈禱ヲ行ヘリ。

第四十二例

〇〇縣〇〇郡〇〇町〇〇字熊〇。松〇定〇。二十七歳。

資産、中流ノ下。監置室、長屋造リノ家ニシテ、ソノ一部ニ庇ヲ懸ケ添ヘテ作りシモノニシテ、一方ダケ格子造リトナシ、其内ニ隙子ヲ入レタリ。他ノ三方ハ全ク板圍ヒナリ。室内ニハ筵ヲ敷キ、蒲團等ヲ與ヘアルモ、夏日ノ差シ込ムアリ、且ツ換氣惡シク、不潔甚シ。醫藥、迷信(イ)初ノ醫藥ヲ受ケタレドモ效ナシ。(ロ)易者ト神官トニ病氣ノ見立テヲ問ヒタルニ曰ク、佛ノ崇リハナケレドモ、住宅ノ積キニ裁縫教室ヲ作り(被監置者ノ姉ハ裁縫教師ナリ)且ツ家ノ方向ヲ變シタルニ、其土地ハ産土神祠ノ地積キニシテ其他尙、井戸ヲ淺深セシコトアリ、此二事ノ崇ニテ流病セリト云フ、故ニ其手當・祈禱等ヲ受ケタリ。(ハ)墓場ヨリ人骨モ雜リ居ルト思ハル、土地ヲ取り來リ浸煎シテ之ヲ飲マシメシコトアリ。

第四十三例

〇〇縣〇〇郡〇〇町〇〇字百〇十二番地。仁〇義〇。

資産、下ノ中等トス。監置ノ時日、明治四十二年八月。監置室、居宅ノ前ニ別建物ヲ造リタルモノニシテ、一坪ノ廣サヲ有ス。杉丸太ヲ四方ニ繞ラシテ柵ヲ作り、各丸太ノ間隔ハ約五寸アリ。其下部ニ二尺許リノ高サニテ腰板ヲ張ル。屋根ハ板葺トス。建物ニ破損セン場所アレドモ修繕ヲ施サズ。防塵ノ用意ニ大ニ欠ケル所アリ。

第四十四例

〇〇縣〇〇郡茂〇町。女工。飛〇〇。明治十五年三月生。

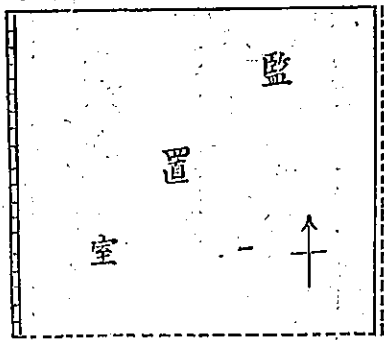
監護義務者、患者ノ繼父〇吉ニシテ、車夫ヲ業トシ、家屋等價格八百圓位ノ資産ヲ有ス。發病、患者ハ東〇道〇山ニ於テ女工タリシモノナルガ、大正元年四月ヨリ發病セリ。監置ノ理由、亂暴ヲナシ、戸外ヲ徘徊スル等ノ危險證狀アリシ爲メ同年八月之ヲ監置スルニ至レリ。監置室ハ獨立セル建物ニシテ、南北八尺・東西九尺・牀下二尺・牀上七尺アリ。牀ハ板張リニシテ蒲ヲ敷キ、西北隅ニ排便口ヲ有ス。北側ハ板張リトシ、東側ハ牀上二尺ヨリ横貫ヲ以テ窓ト爲ス。西側モ牀上二尺マテ板張リトシ、側上部、二尺ヲ窓ト爲シ之ニ鐵格子ヲ張リ板戸ヲ備ヘ、其上部モ亦板張リトシ長サ四尺ノ扉ヲ出ダス。南側ハ東寄三尺ヲ板張リトシ、其他ハ三寸角材ヲ二寸五分間隔ニ樹テ横貫三本ヲ入レ、其東端、幅二尺五寸・高サ四尺五寸ヲ入口トシテ、同構造ノ扉ヲ備フ。被監置者ノ病狀、患者ノ榮養ハ中等度ニシテ、入浴ハセザルモ日々身體ヲ拭フヲ以テ不潔ナラズ。月經時ニ興奮スルコトアル他靜カナリト云フ。醫藥、醫治ヲ受ケ居ラズ。

第四十五例

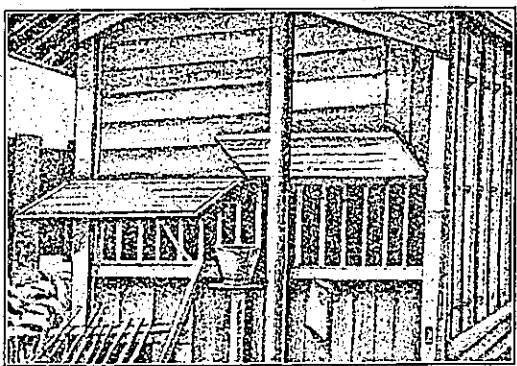
〇〇縣〇〇郡千〇村〇〇字〇柳。

農。根〇文〇。明治七年二月生。監護義務者、父〇八。資産、父ハ地價千五百圓程ノ資産ヲ有スル農家ナリ。監置ノ理由及ビ其時日、患者ハ好訴性妄想ヲ有シテ所々ヲ徘徊セル爲メ、明治三

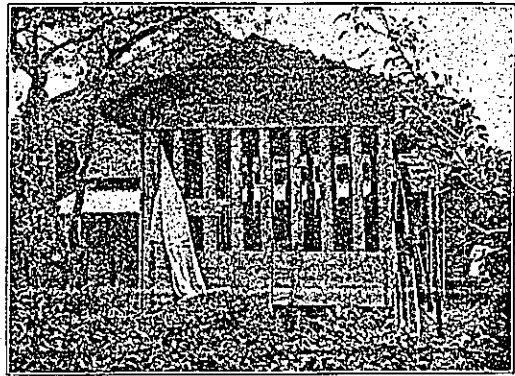
(號五十二第)圖附例四十四第



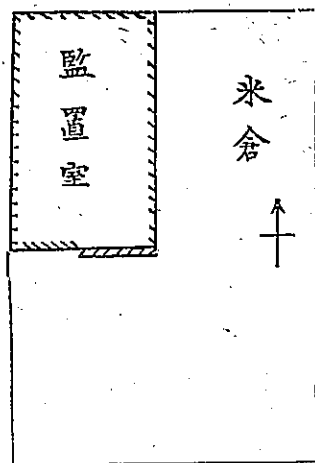
(號四十二第)眞寫例四十四第



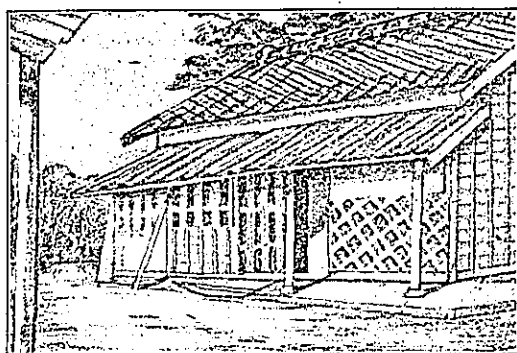
(號三十二第)眞寫例三十四第



(號六十二第) 圖附例五十四第



(號五十二第) 眞寫例五十四第



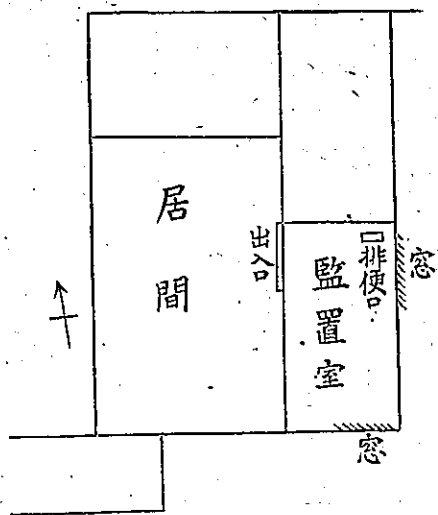
十四年以來之ヲ監置ス。監置室、母屋ヨリ五
六間ヲ隔テタル米倉ノ西北隅ノ長サ九尺・幅六尺
ヲ測シテ板張リトシ其内面ニ二寸角材ヲ立テタル
モノニシテ、牀ハ板張リニテ破レタル藁蓆ヲ敷キ、
牀上ハ高サ七尺アリ、天井モ板張リナリ。西側ノ
上部高サ二尺ハ格子窓ニテ日避ケノ爲メ外ニ藁
蓆ヲ垂ル。南側東寄三尺ハ格子戸ヲ具フルモ、患者
屢ニ之ヲ破壊シタルヲ修理セシモノナリトテ慘狀
ヲ極ム。然シ、採光・換氣ハ不良ナラズ。被監
置者ノ病狀、視察當時ノ近來ニ於テハ、鎮靜セリ
ト稱スルモ尙、妄想ノ斷片の跡ヲ聞クヲ得タリ。
榮養狀態ハ佳良ナラズ、顔面ハ蒼白ナリ。家

第四十六例

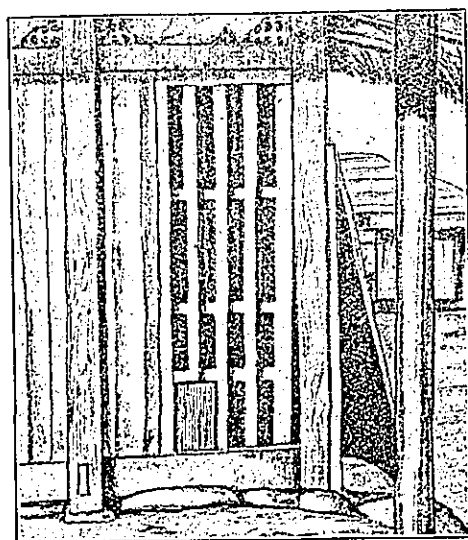
〇〇縣〇〇郡〇〇町寒〇三〇三〇地。小使、〇田長〇衛、文政十二年生。

監置義務者、患者ノ嗣子ニシテ戸主タル〇田〇藏ナリ。資産ト稱スベキモノナク、町役場ノ使丁トナリテ衣食スルモノナリ。監置ノ時日、明治三十三年ヨリナリ。監置ノ理由ハ家族ニ遊蕩セラレントノ妄想ヲ有シ、爲メニ妻子ヲ切ラントシ、且ツ兇器ヲ所持シテ所々ヲ徘徊セシ爲メナリト云フ。監置ノ場所、住宅ノ一室ナリ。監置室、粗末ナル板葺ノ住宅ノ東南隅ノ一室ヲ改造セシモノニシテ間口六尺・奥行九尺アリ。南側ノ東方三尺ハ二寸角材・三寸間隔ノ格子ニシテ東側中央上部ニ幅三尺・高サ一尺ノ格子窓アリ。西側奥ノ三尺ノ上半部ハ二寸角材・二間隔ノ格子ニシテ下半部ハ板ノ扉ナリ、コレニヨリテ家族ノ住宅ト連絡ス。其他ノ四壁ハ板葺ナリ。牀ハ高サ一尺ニシテ板敷ナリ。従前ハ燠ヲ敷キタリシモ不潔ノ爲メ之ヲ撤去シタルモノナリト云フ。採光・換氣ハ十分ナルガ如シ。東北隅ニ小ナル排便口ヲ有ス。病狀、監置後モ妄想ヲ有シ、時々興奮ノ狀ヲ呈センガ、大正二年ニ入りテヨリハ甚鎮靜シ、且ツ然トシテ多ク臥シ居ルト云フ。視察當時ニハ被監置者ハ室ノ中央ニ蒲團ニ横臥シ心身共ニ著シキ衰弱ノ狀態ニアリタリ。

(號七十二第) 圖附例六十四第



(號六十二第) 眞寫例六十四第



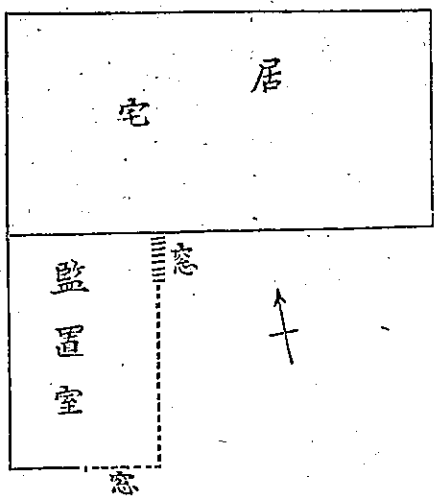
家人ノ待遇、住宅ノ連絡口ハ自由ニ開放セラレ、家人ハ常ニ監置室ニ出入シテ介抱スルノ狀アリ。其患者ニ對スル態度ハ普通一般ニ認ムル如キモノナラズ、甚懇切ヲ盡ス。入浴ハ一箇月三回位之ヲ行ハシムト云フ。警察官ノ視察、一箇月六回。醫藥、警察醫一箇月ニ二、三回診察スト云フ。

第四十七例

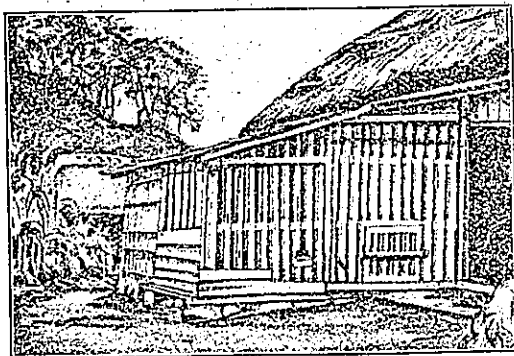
〇〇縣〇〇郡大〇町。

農。瀧〇松〇郎、六十二年。監置義務者、養子、瀧〇龜〇。資産、監置義務者ハ其居住スル家屋ノ他ニ僅少ノ土地ヲ所有スル農夫ナリ。監置ノ時日、木被監置者ハ嘗テ監視セラレタルコトアリ。附來病氣ノ消長ニヨリ、二回監置ヲ

(號八十二第) 圖附例七十四第



(號七十二第) 眞寫例七十四第



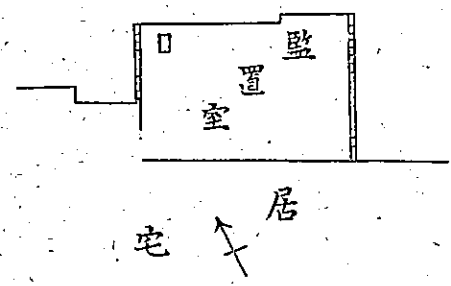
解カレンモ、明治四十五年三月第三回ノ監置ヲ受ケタルモノナリト云フ。監置室、母屋ノ一隅ヨリ幅六尺・長サ一丈ヲ増築シタルモノニシテ、其北及
 び西側ハ板張りトシ、南側モ板張りナレドモ東寄三尺ノ上半部ハ窓トシ、東側全部ト共ニ三寸角材ヲ二寸間隔ニ立テ、格子トス。猶、東側ノ中央ニハ一
 本ノ横貫ヲ入レ、コソ側ノ北端下部ニ幅二尺・高サ三尺ノ入口ヲ備ヘ、同シ格子ノ扉ヲ附ス。天井ハ高サ八尺ヨリ五尺ニ傾斜シ、牀ハ板張りノ上ニ階ヲ
 敷キ、牀下一尺アリ、換氣採光ハ十分ナリ。此監置室ハ十四年前ニ設ケタルモノナリ。病狀、視察時ニハ病的症狀ヲ認メ難カリキ。患者自ラモ輕快セ
 ルコトヲ知り居ルモ再ビ發病シテ他ニ害ヲ及ボサンコトヲ恐レ、自ラ進ミテ監置セラレ居ルト云フ。故ニ凡テノ生活方健康人ト異ラズ。日常、鹽仕事其
 他ノ手助けヲ爲シ居ルト云フ。 家人ノ待遇、沐浴・洗濯等廢行ハレ、病者ニ對スル待遇良好ナリキ。警察官ノ視察、一箇月ニ三回。

第四十八例

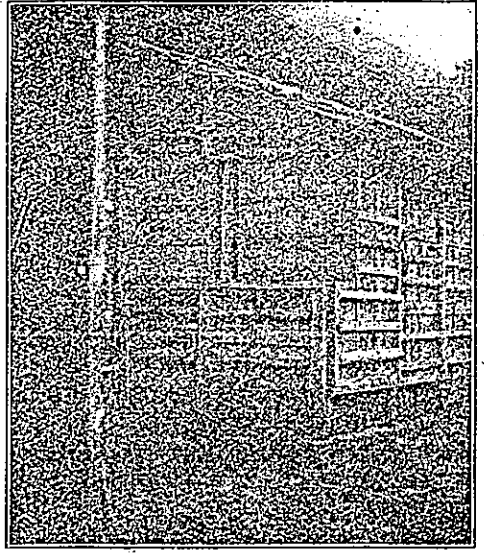
〇〇縣〇〇郡〇〇町千〇寺一〇六〇番地。農。畑〇〇太〇。明治九年八月生。

監置義務者、父、〇次郎ハ其地方ニ於テ中流以上ノ農家ナリ。地租凡ソ五十圓ヲ納ム。 監置ノ理由及時日、患者ガ妻ニ對スル嫉妬妄想ヨリ其妻ヲ傷
 ケントセン爲メ監置ス、一時東京市内ノ某精神病院ニ入院センメタルコトアリシモ、治癒セザリシヲ以テ明治三十六年中私宅監置ノ許可ヲ得タルモノナ
 リ。

(號九十二第)圖附例八十四第



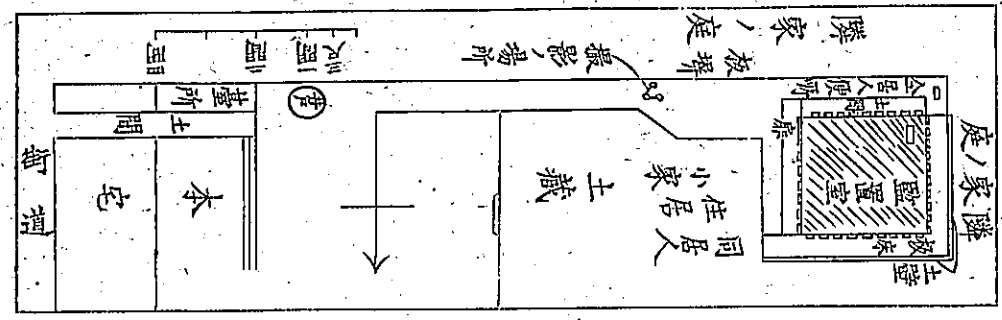
(號八十二第)眞寫例八十四第



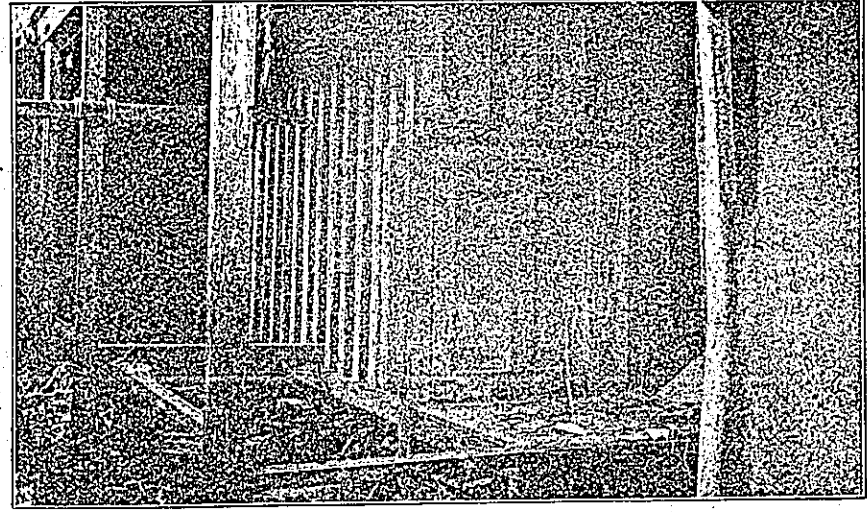
背後ニ母屋ヨリ増築セルモノニ
 シテ間口九尺・奥行六尺アリ。牀
 下略、一尺五寸、牀ヨリ天井マ
 テ略、七尺アリ。南側ハ壁ニヨ
 リテ母屋ト隔テラレ、北側ハ西
 寄六尺ハ板張りニシテ、東寄三
 尺ハ入口トシテ高サ六尺ノ強同
 ナル板戸ヲ具フ。東側ノ上半部
 ハ窓ニシテ二寸角材・三寸間隔
 ノ格子アリテ其外ニ板戸ヲ具ヘ

其下半部ハ板張りトシ、其南寄三尺ノ上部一尺位ハ板ヲ張ラズシテ小窓トナシアリ。西側ノ南寄三尺モ母屋ノ壁ニヨリテ母屋ト隔テラレ、北寄三尺ノ上
 半部ハ東側ト同構造ノ窓ニシテ同シク板戸ヲ具ヘ、其下半部ハ板張りナリ。牀ハ板張りニシテ西北隅ニ排便口ヲ有ス。 病狀、患者ハ室ノ一隅ニ不潔
 ナル衣服ヲ頭ヨリ被リテ臥セリ。窓ノ板戸ヲ開キテ内部ヲ窺ヒタルニ、患者ハ直ニ起キ上リテ烈シク其戸ヲ鎖セリ。顔色蒼白ニシテ榮養不茂、髪ハ刈ル

(號十三第)圖附例九十四第



(號九十二第)眞寫例九十四第



コトナクシテ尺餘ニ延ビ、皮膚ハ甚シク不潔ナリ。監置ヲ始メタル頃ハ時々暴行ヲナシ、監置室ノ家根ヲ破リテ室外ニ出テシコトアリシ程ナリシガ、視
 察時ノ最近ニハ靜カニシテ機嫌ヨキ時
 ヲ見テ一箇月一度位ハ入浴セシメ、又
 二箇月ニ一回位ハ室内ノ掃除モナス
 云フ。板戸ヲ開ケバ換氣採光ハ十分
 ナルモ、患者ハ常ニ之ヲ鎖シ、強ヒテ
 之ヲ開ケバ激怒スルヲ以テ、暗黒内ニ
 居ルガ如シ。 警察官ノ視察、一箇
 月ニ六回。 醫藥、警察官ハ一箇月
 ニ二三回巡視スル外何等ノ治療ヲ加ヘ
 ズト云フ。

第四十九例

〇〇縣〇〇市〇〇町〇十二番地。塗物商。〇鳥〇助。三十二歳。

監置義務者、患者ノ實母、〇村〇〇ニ
 シテ家業ノ塗物商ニ従事ス。 資産
 尠ニ生活程度、中等。 監置ノ場所
 前記患者ノ自宅。 監置ノ時日及其
 經過、明治四十一年七月十九日監置許
 可ヲ得シヨリ視察時ニ至ル迄二箇年四
 箇月ナリ。 監置ノ理由、實母ノ言
 ニ據レバ時々暴怒シテ家財ヲ破壊シ家
 族ヲ打擲スル等ノコトアリシガ爲メナ

リト云フ。監置室ヲ檢スルニ、店頭ヨリ入ルコト十間許、古キ土藏ノ背後ナル物置ノ一部ヲ改造セルモノニシテ、土藏ニ造リ掛ケタル小屋竝ニ監置室ノ二階ニハ同居人ヲ住居セシメ、室ノ周圍ニハ、鍍層・繩片等散亂シ、三尺許ヲ隔テ、同居人ノ使用スル便所アリ。患者ハ室ノ牀上ニ匍匐スルニアラザレバ天空ヲ見ルヲ得ズ。室ハ間口一間半奥行二間・高六尺ニシテ天井ト牀トハ厚四分ノ松板ニテ張リ、牀ノ南西隅ニ近ク長邊一尺・短邊四寸ノ排泄物受口アリテ其下ニ小管ヲ備ヘ、排泄ノ都度之ヲ掃除スル装置ナリ。室ノ四壁ハスベテ三寸角ノ松材ニテ割シ各材ノ間隔四寸アリ、之ヲ横ニ貫ク貫ハ上下二本ニシテ各幅四寸厚六分アリ。室ノ扉ハ東壁ニアリテ幅三尺・高四尺・三箇所ニテ蝶番ヲ以テ固定シ、上下二箇所ニ棧ヲ備フ。棧ノ幅二寸・厚四分・嵌リ二寸ナリ。其外ニ扉ヲ押ヘタル門ノ角金具アレドモ、門ハ現在使用スルコトナシト云フ。家人ノ待遇、患者鎮靜セルトキハ室外ニ出シテ沐浴セシメ屋根ノ物干ニ出シテ洗濯セシメ、時ニハ家族ノ室ニ臥セシムルコトアリ。洗濯ノ度敷等スベテ家族ト同様ナリ。醫藥、監置ノ初ニハ主治醫アリシモ、近來ハ二箇月ニ一回位來診スルニ止マル。警察官ノ觀察、一箇月四五回。

本例ニテハ家人ノ待遇ハ略シ遺懣ナキガ如クナレドモ、監置室ノ構造ハ缺點少カラズ。換氣ハ不長ト云フベカラザルモ室外ニ月障子ノ設ナキヲ以テ防突ノ途十分ナラズ。採光將タ不十分ナリ、清潔ノ注意ハ當路吏員ニ待チテ改ムルヲ得ベシトスルモ、無智ナル同居人ノ患者ヲ玩弄物視セントスルガ如キ傾向アルハ遺憾ナリ。

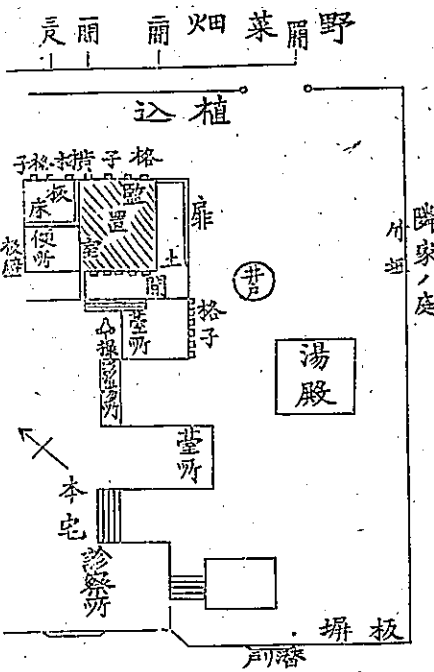
第五十例

〇〇縣〇〇市〇柳町〇一番地。〇松〇ウ。四十一歳。發病時ハ工業學校教諭ノ妻ナリキ。

監置義務者、前記〇〇市〇柳町〇一番地無業〇松〇イト云ヒ患者ノ實母ナルモ、事實上ノ看護治療ハ患者ノ監置場所ナル〇柳町〇十〇番地醫藥〇松〇三郎ニ當ル。資度及生活ノ程度、中等ナリ。監置ノ時日及其經過、患者ハ實母ノ言ニ據レバ、發病ノ初メ不眠ニシテ徹夜外出徘徊シテ家財ヲ破毀シ、實母ヲ打擲スル等ノコトアリシ爲メ明治三十二年十月二日監置ノ許可ヲ得タリト云フ。即チ觀察時ニ至ルマテ滿十三箇年ヲ經タリ。

監置室ハ街道ヨリ入ルコト六間、本宅ノ庇ニ造リ掛ケタル間口七尺・奥行七尺・高七尺ノ建物ニシテ、天井ノ西半分ハ在來ノ本宅ノ葺屋根ヨリ成リ、東半分ハ鉛板ニテ葺ケリ。牀ハ素板ニテ張リ、其南半分ニハ古墊一枚ヲ敷キ、北半分ニハ古墊一枚ヲ敷クモ、共ニ尿ニ汚レテ所々腐朽シ、爲ニ室内ニ不快ナル臭氣アリ。此側ノ中、西四尺ハ土壁ニシテ餘ハ板戸ヲ以テ後述ノ便所ニ通ズ。東側ノ下方ハ高サ三尺ノ板壁ニシテ上方ノ窓ニハ骨露ハナル障子二枚ヲ立テ、其外側ニハ厚一寸・幅一寸五分間隔五寸ノ木格子アリ。之ニ二本ノ細板ヲ以テ吳塵・掃ヲ外ヨリ打付ケ風雨ヲ防ケ用ニ供ス。南側ハ全部板壁ニテ正面ナル西側ハ三尺ノ土間ヲ隔テ、本宅ノ庭所ニ對シ、南一尺ハ板張ナルモ、其間ハ厚二寸幅三寸間隔五寸ノ横木格子ヲ張ル。扉ハ該格子ノ北下隅ニアリ。幅二尺五寸・高三尺・普通ノ板戸ニシテ蝶番ニテ固定セラレ、普通ノ輪鍵一箇ヲ具フル他、其上方ニ長三寸・幅二寸・厚一寸ノ木片ヲ綴ク釘ニテ打付ケ、之ヲ廻シテ錠ノ用ヲナサシム。上述北側ノ板戸ヲ開ケバ三尺四方ノ板牀アリ、之ヨリ西ニ入レバ板戸ヲ境界トシテ便所トナル。孔ノ大サハ長二尺・幅七寸ニテ二尺ヲ隔テ、直徑二尺ノ瓶ヲ埋ム。凡テ其北側ハ板壁、西側ハ土壁ナルガ、東側ニハ厚二寸間隔五寸ノ横木格子ヲ以テ限制セラ

(號一十三第) 圖附 例十五第



ル。家人ノ待遇、患者ノ不潔ニシテ且ツ拒絶性ナルガ爲メ不便ナルコト多キニ因ルト云ヘ、甚到レリト云フベカラズ。運動・沐浴等ハ未ダ試ミタルコトナク洗濯並ニ身體ノ拂拭モ極メ稀ニ、著衣ハ不潔ニシテ破綻ノ箇所多ク、一見昏迷性ノ患者ニ對シ兩便・經血等ノ處置ヲ期クルコト少キガ如ク、監置ノ場所ハ醫師ノ住宅ノ一部ナルモ患者ハ榮養極メ不長ニシテ全身殊ニ顔面ニ著明ナル浮腫ヲ認ム。警察官ノ觀察、一箇月二回位ナリト云フ。

本例ニテハ通氣ハ不長ナリト云フベカラザルモ、冬期暖房ノ装置ナク採光ハ極メ不十分ナリ。故ニ構造・待遇共ニ不十分ナルモノト云ハザルヲ得ズ。或ハ本例ノ如キ十一年以上ノ經過ニ際シテハ、家人ノ意氣沮ミ奔命ニ服クガ如キコトナキヲ保シ難シ。

第五十一例及第五十二例

〇〇〇〇郡〇〇町〇田〇〇十六番地。農。〇島〇作。六十四歳。及ビ學生。〇島〇平。三十三歳。監置ノ場所、〇作ハ即チ〇平ノ實父ニシテ兩者ハ共ニ前記〇〇郡〇〇町〇新田〇〇十六番地ニ監置セラル、ヲ以テ、便宜上、二例ヲ合セテ記クベシ。

監置義務者、〇作ニハ實父、〇平ニハ祖父ナル同番地、農。〇島〇八ヲ監置義務者トス。資度、〇八ハ病者ヲ監置スル以前ニハ相當ノ資産ヲ有セシ者ナルモ、監置後ハ扶養ノ爲メ漸ク家産ヲ盡盡シ、現在ニテハ往時ノ門長屋ノ一部ニ住シ、下級農民ノ生活ヲ營ムニ過ギズ。

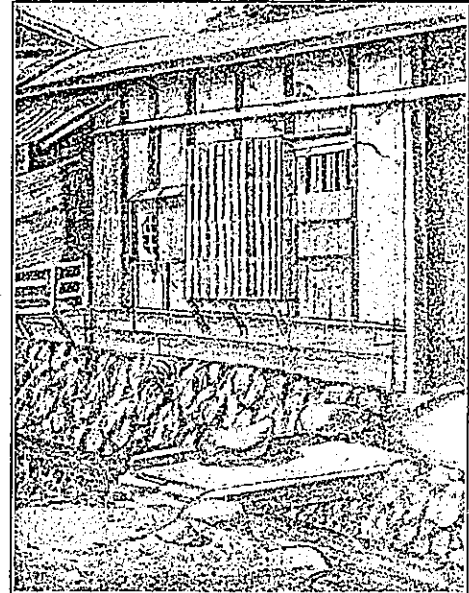
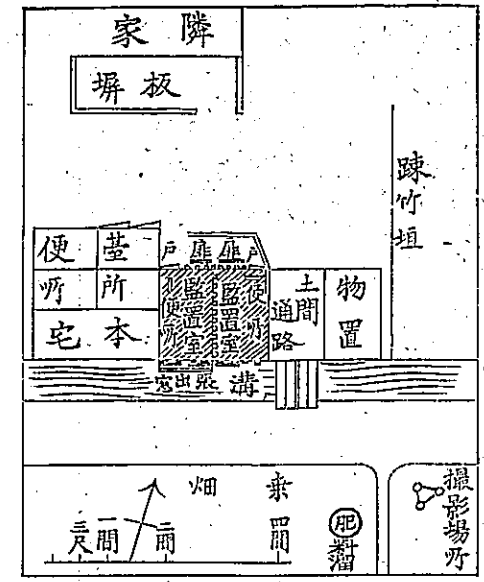
監置ノ時日及其經過、〇作ハ明治三十三年八月二十三日監置セラレシヨリ以來觀察當時マテ十箇年一箇月ヲ經タリ。〇平

(號十三第) 眞寫 例十五第



ノ監置ハ明治三十七年十一月十六日ニ始マリ以來五箇年十一箇月ヲ重ス。監置ノ理由、○作ハ戶外ヲ徘徊シ、家財ヲ被毀シ、家族ニ暴行ヲ加ヘン爲メ。○平ハ無意味ニ外出徘徊シ家財ヲ抛棄破壞セシ爲メ。 監置室、家族ノ居室ニ隣リ門長屋ノ一部ヲナス。南側ハ長二間アリ、其中西一間ハ土壁ヨリ一尺ノ高サニ於テ土壁ナルモ、之ヨリ上ハ幅厚各二寸ノ木格子ニシテ格子ノ間隔二寸アリ。格子ハ左右一尺二寸宛、板ニテ被ヒ、其外面ニ幅五寸ノ張出窓アリテ之ニ小格子ヲ打付ク。南側ノ中、東一間ハ西寄幅三尺、高四尺五寸ノ前述セルモノニ等シキ木格子アリ、其他ハ土壁ナリ。木格子ニハ三尺五寸ノ高サマテ板ヲ打附ク。東側ハ通路タル土間ニ面シ、スベテ土壁ナルモ、北寄一間ハ四尺ノ高ニ板張トナセリ。家族ノ居室ト隣ル、西側ハ土壁ナルモ、内ヨリ板張トナセリ。北側ノ中、東一間ハ東寄三尺ノ土壁ト西寄三尺ノ前述セルモノニ等シキ木格子トヨリ成リ、木格子ニハ上下二箇所ニ同大ノ貫ヲ具ヘ、西寄一尺幅ト其東幅一尺、高四尺ハ板ニテ被ヒ、格子ノ外ニハ幅三尺ノ戸ヲ具フ。格子即チ扉ニシテ蝶番ニテ固定セラレ、海老鍔ニテ閉鎖ス。北側ノ中、西一間ノ西寄三尺ハ土壁、東寄三尺ハ前述ノ木格子ニテ、格子ノ東寄一尺五寸幅ハ横板ニテ張詰ム。幅三尺ノ板戸ヲ具フルコト前ニ同ジ。蝶番海老鍔亦前ニ同ジ。上記ノ監置室ハ、中央ニ於テ南北ニ格子ノ隔壁ヲ有シ、格子ニハ西側ヨリ板ヲ打付ク。牀ハ板張ニシテ四壁モ前記ノ窓ヲ除ク他ハ皆、板張トナシタルガ、其面ハ常同ノ理解スベカラザル落着ニテ殆ド填充セラレタリ。板牀ノ高一尺アリ。而シテ○作ハ其西方ヲ占メ、○平ハ東方ノ室ヲ占ム。西方ノ室ニハ北西隅ニ幅七寸、長一尺ノ排便口アリ。牀ニハ蒲團ノ外被ト覺シキ古布ヲ敷キタルモ、尿ノ爲ニ漏潤腐爛シ、綿目ヲ辨ズベカラズ、堪ヘ難キ汚臭ヲ放テリ。其他ニハ不潔ナル古蒲團三枚、缺血一箇アリ。身體著

例二十五第及例一七五第 (號二十三第)圖附



例二十五第及例一十五第 (號一十三第)眞寫

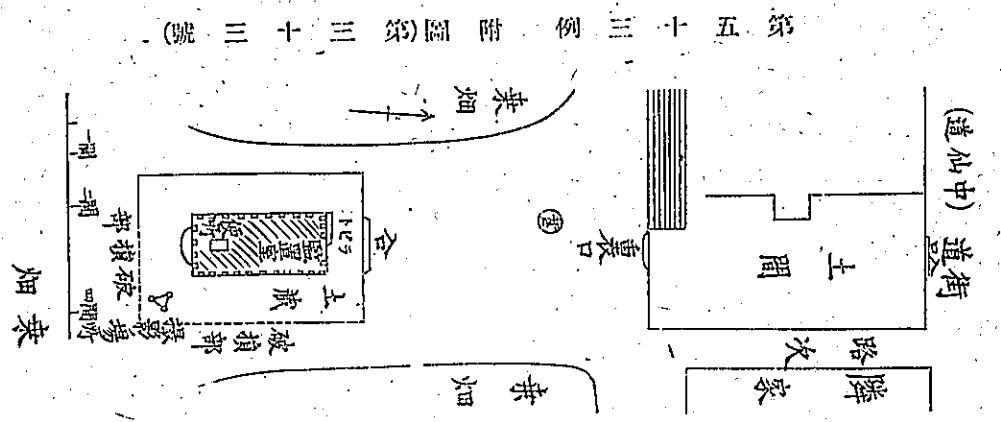
表不潔ヲ極ム。東方ノ室ニハ東北隅ニ幅五寸、長一尺ノ排便口アリ。家具ナシ、不潔ナリ。扉前ニハ餓餓ノ投棄シアルヲ認ム。監置室ノ南側ハ汚濁シテ溜溜スル溝ニ面シ、北側ニハ四尺許ヲ距テ、高五尺ノ板塀アリ。通氣採光不良ニシテ暖房、燈火等ノ設備ハ一切之ヲ缺ク。 家人ノ待遇、經濟上ノ不如意ヨリ完全ナルコト能ハズ。 被服ハ一箇月ニ乃至三回洗濯スルモ、運動沐浴等ハ之ヲ行ハズ、時々身體ヲ拂拭スルノミナリ、 病狀、被監置者ハ兩人共ニ顔面蒼白、營養不良ニシテ、四肢ノ爪長ク、毛髮蓬々タリ。 光景ノ悲惨タル多ク他ニ見ザル所ナリ。 醫藥、主治醫ナシ。 警察官ノ觀察、一箇月三回乃至四回。

第五十三例

- 縣○○郡○○賀○○町○○百
- 十四番地。 雇人口入
- 業。○山○○八。五十九歳。
- 監護義務者ハ妻、○山○○
- ニシテ、監置ノ場所ナル前
- 記。○○縣○○郡○○賀○○町
- 番地自宅ニアリテ旅
- 人宿(安泊街)ヲ業トス。
- 資産、ソノ宅地家屋ノミ、



(號二十三第)眞寫 例三十五第

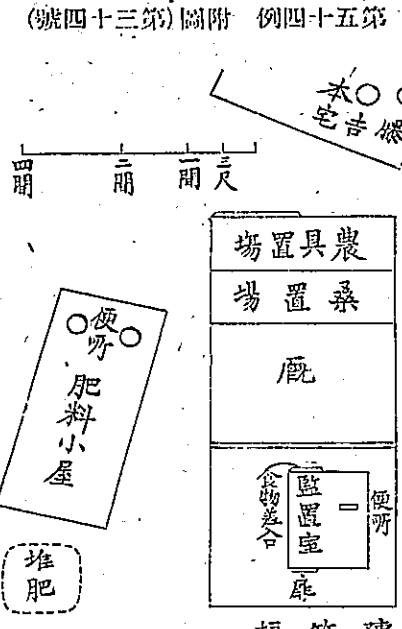


生活程度ハ劣等ナリ。 監置ノ時日及其經過、明治三十六年十二月十六日監置許可ヲ得テ觀察時ニ至ルマテ七箇年十箇月ヲ經タリ。 監置ノ理由、妻ニ外出徘徊シ、家族ヲ打擲スト云フニアリ。 監置ノ場所、本宅ノ背後二十間許桑畑中ナル土蔵内トス。土蔵ハ北向ニシテ間口二間半、奥行三間半アリ。其西方及ビ南方ノ壁ハ大破シテ壁竹ヲ露ハシ、西方ノ破損所ヨリハ自由ニ人ヲ出入セシムベシ。南方ノ破損所ニハ桑ノ枝束ヲ内部ヨリ押付ケアリ、二階ニハ雜具ヲ貯フ。 監置室、土蔵ノ戸口ヲ距ルコト四尺ニシテ、幅厚各三寸、間隔四

寸ノ木格子ヨリ成リ、間口一間・奥行二間半・高六尺アリ。林ハ地面ヨリ五寸ノ高ニアリ。上下三箇所ニ直徑五分ノ鐵棒ヲ貫テ貫キ、四隅ノ下部ニハ二尺四方位ニ木片ヲ打付ク。天井モ同様ノ木格子ヨリ成ル、但シ貫ナシ。牀板ハ六分厚ノ松板ニシテ南側ノ中央ニ幅六寸・長一尺ノ排便口ヲ穿テ、其下ニ醬油樽ヲ埋ム。扉ハ北側ノ東寄ニアリテ幅三尺・高四尺アリ、板取トナシテ蝶番ニテ固定シ、二箇所ニ輪軸ヲ具ヘ、其一ニ破損セル海老錠ノ貫ヲ挿入シテアリ。室内ニハ桌座・蒲團各一枚・茶碗三箇・團扇一本ヲ認ム。採光不良ニシテ、防寒ノ設備ナシ。病狀、被監置者ハ室内ニ横臥シテ寢ス。糞糞不具ニシテ顔面ニ程度ノ浮腫アリ。家人ノ待遇、一箇月三回位洗濯ヲナシ與ヘ、時々行水ヲナサシム。又木宅ニ臥セシムルコトアリ。醫藥、主治醫ナシ。警察官ノ視察、一箇月十回。

第五十五例

〇〇縣〇〇郡〇〇村大字〇〇宮〇〇十四番地。坐標機械販賣業。〇藤〇吉。四十四歳。



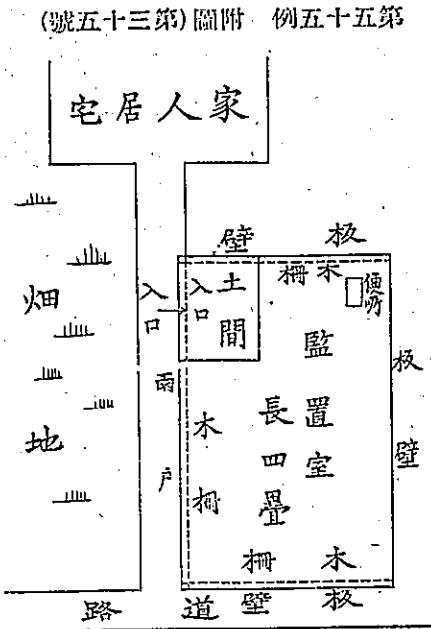
面ニハ壁ヲ有セズ、僅ニ鐵籠ヲ立掛ケ置クニ過ギズ。監置室ハ間口八尺・奥行五尺・高六尺・牀下五寸ニシテ、四壁並ニ天井ハスベテ厚二寸間隔三寸ノ角木格子ニシテ、四隅ノ角柱ノミハ厚幅各三寸ナリ。横貫ハ上下二本ニシテ厚幅各二寸アリ。天井ニハ横桁三本ヲ有シ其上下板張リトス。牀ハ六分板ノ板張リニシテ、北側中央ニ近ク幅三尺・長五寸ノ排便口アリ、下ニ桶ヲ埋ム。又、西側南寄二尺五寸ノ高サニ六寸四方位ノ食物差入口アリ、扉ハ杉林ニシテ東ハ疎ナル竹垣ヲ隔テ、隣家宅地ニ接ス。土間ハ東南北ノ三

東側南寄二尺五寸幅ニシテ金具ニテ固定シ、上下二尺ツ、外ヨリ板ヲ打附ク。鐵網用ニハ扉ノ嵌入スル上櫃ノ中央ニ、横ヨリ厚四分・幅三寸ノ孔ヲ作リテ之ニ適合スル機木ヲ挿入シ、機木ヲ固定スル爲ニ上櫃ノ上面ヨリ深ク四寸釘ヲ挿入シ置ケリ。室内ニハ蚊帳・蒲團各一枚アリ、患者ガ作業ノ材料ナル碓球細網ノ一束アリ。家人ノ待遇、三食ノ材料ハ監置義務者等ノ供給ニ係リ、其調理ハ〇藤〇吉ノ司ル所ナリ。洗濯・沐浴等ハ假監置以來日尙淺キヲ以テ未ダ行ヘルコトナシ。醫藥、主治醫ハ同村ニ住シテ一箇月二回位來診ス。警察官ノ視察、警官ハ當分隔日ニ巡回ス。採光不十分ニシテ殊ニ四壁殆ド空シクテ暖ニ隣ルガ如キ衛生上ノ不備甚シキモノト云ハザルベカラズ。

第五十五例

〇〇縣〇〇郡〇〇町〇〇内二〇八番地。教員。渡〇鶴〇。明治五年二月一日生。

監置義務者、松〇〇安(巡キ親戚)。資産、中等。監置ノ理由、義務者不在ニシテ詳ニスルヲ得ザリキ。監置ノ場所、木宅ノ前方約二間ノ所ニ位スル瓦葺納屋ノ内部ニ在リ。監置室、四間、天井共、四寸徑ノ鐵柵ヲ繞ラレル者ニシテ、間



口二間・奥行一間ヲ有シ、牀ノ高サ一尺五寸ナリ。室内ニハ二枚ノ古疊及ビ病牀アリ。而シテ入口ノ突き當リハ板敷ニ穿孔ヲ造リテ便所ニ充ツ。家人ノ待遇、被監置者ハ目下重症ノ肺結核ニ冒サレ終日平靜ニ横臥シ、今ヤ其監置ノ必要ヲ認メズ。然ルニ家人等ハ全ク之ヲ厄介視スルコト甚シク馬鹿町噺ナル監置場ヲ設ケ、刺ヘ外圍ハ全ク雨戸ヲ閉セルガ故ニ室内ハ闇黒ナリ。換氣亦全ク不完全ニシテ炎暑ノ頃終日病牀ニ呻吟セルノ慘狀ヲ呈セリ。吾人ハ是ニ於テ家人ノ不徳義ヲ責ムルハ勿論、之ガ監督官吏ノ怠慢ヲ責ムズンバアルベカラズ。

第五十六例

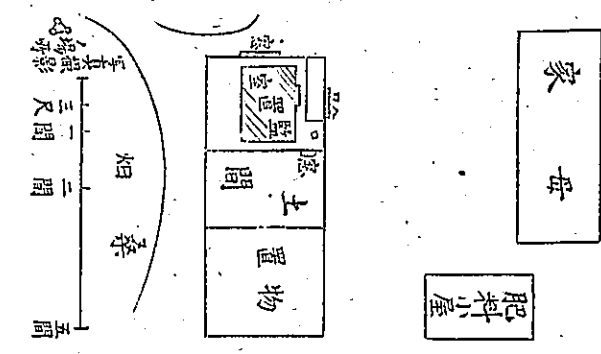
〇〇縣〇〇郡松〇〇村二〇〇十七番地。平民。農。相〇〇爲。安政四年八月生。

監置義務者、弟、相〇〇實。資産、中等程度。監置ノ理由、時日經過、被監置者ハ明治二十一年二月申發病シ、外出徘徊アリ、暴行アリ、時々火ヲ弄スルヲ以テ二十三年五月二十七日監置ノ許可ヲ得タルガ、其後病狀輕快シタル爲メ、數年間監置ヲ廢セシモ明治三十三年五月ニ至リ病勢再び増進セルニヨリ、同年七月十四日更ニ監置ヲ許可セラレタリ。監置室、居室長屋門ノ一部ニアリ。瓦葺。間口七間・奥行二間ノ建物ノ中、東寄六坪ハ物置トナシ、中央四坪ヲ通路用ノ土間トナシ、西寄四坪ヲ監置室ニ充ツ。東側ハ全部土壁ニシテ其北寄一間ノ高サ一尺四方ノ竹格子ヲ張レル小窓アリ。南側モ全部土壁ナルガ、其中央部ニ五尺ノ高サニ二尺四方ノ窓ヲ穿テ、之ニ三寸ノ

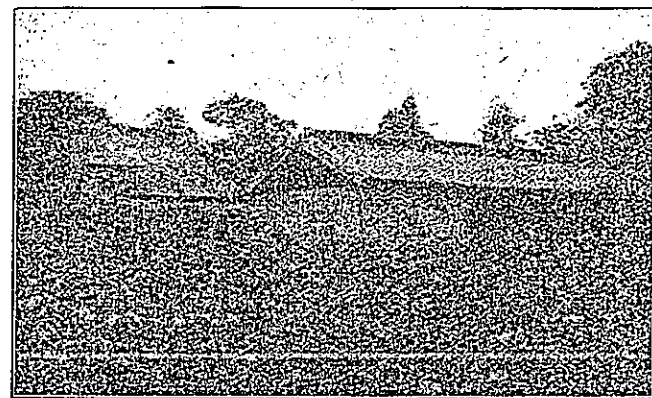
間隔ヲ以テ幅三寸・厚サ五分ノ木格子ヲ張リ、同大ノ木片ニテ横貫一本ヲ備フ。四側モ同シク全部土壁ニシテ、其中央部ニ五尺ノ高さニ四尺四方ノ窓ヲ開キ、壁土ヲ落セルマ、壁骨ヲ以テ格子ノ代用トス。上部ノ破風ニハ別ニ被ヲナサズ。北側中央ニ五尺四方ノ入口アリテ其移ニ之ニ立掛クベキ板戸ヲ寄セ掛ケアリ、其他ハスベテ土壁ナリ。牀ノ高さ一尺ニシテ、牀竝ニ天井ハ板張ナリ。

前同使用セン監置室ハ間口五尺・奥行一間ニシテ、牀竝ニ天井ヲ板張トシ、四壁ハ幅四寸・厚サ三寸・間隔四寸ノ格子ニテ割ス。北側ニ同大ノ横貫一本、天井ニ同大ノ貫三本アリ。窓ノ西北隅ニ幅五寸・長サ六寸ノ排便口アルモ、現在ハ之ヲ使用セズ。

(號六十三第)圖附 例六十五第



(號三十三第)眞寫 例六十五第



蒲團・帷卷各一枚・日本外史一部アリ。採光・換氣不良ニシテ室内ニハ強キ糞臭アリ。家人ノ待遇、運動ナク、入浴ナク、一箇月二回位洗濯ヲナシ、一週間一回身體ヲ拭ヒ遣ルモ、室内ヲ掃除スルコト稀ナリ。病狀、被監置者ハ不潔ナラザル單衣ヲ纏ヒ、頻リニ日本外史ヲ音讀スルモ音讀斷斷シテ章句ヲ成サズ。顔貌癡呆狀ニシテ、榮養不良ナリ。醫藥、主治醫ナク、服藥セズ。警察官ノ視察、一箇月二、三回。家族、患者ノ家系ニハ精

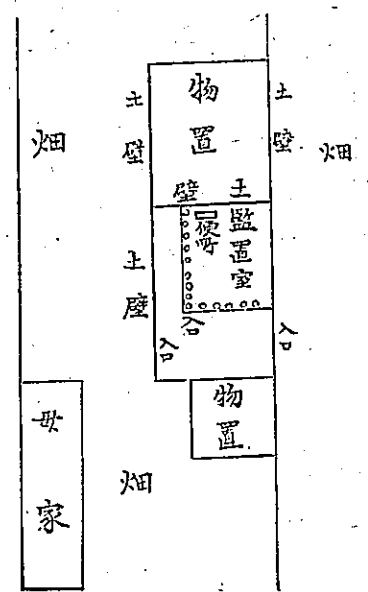
第二回ニ作レル監置室ハ直ニ其西ニ隣リ前同ノ監置室ノ西壁ヲ打抜キ之ト接續セシメタルモノニシテ、間口・奥行各一間アリ。牀竝ニ天井ハ共ニ厚サ一寸ノ板張トナシ、横貫ナク、天井ニ幅・厚各三寸ノ貫一本アリ。三面モ之ト同大ノ格子ニシテ間隔四寸アリ。西側ニ腰板三枚、南側及北側ニ各一枚ヲ打付ケケリ。入口ハ北側ニ在リテ舊監置室トノ境界ニ接シ、幅三尺・高さ四尺ノ同様ナル格子戸ニシテ東寄ニ輪釘ヲ具ヘテ小形ノ日本錠ヲ鎖ス。入口ノ前、幅二尺・長サ二間二尺ハ土間ナリ。土間ノ東端ニ近キ牀上ニ古手桶一箇アリ。患者ハ一枚ノ細板ヲ所持シ居リ、尿意ヲ催ス時ハ細板ヲ格子ノ間ヨリ差出シテ手桶ヲ掃寄セテ其中ニ放尿シ、大便ハ上記ノ細板ノ上ニ放チ板ヲ差伸シテ手桶ノ中ニ糞ツト言フ。室内ニハ上記ノ細板ノ他、

神病ノ果疎アルモノカ、患者ノ甥ニテ明治四十三年二月中、戀愛關係ヨリ其從妹ニシテ患者ノ姪ニ當ルモノヲ銃殺シテ自殺セルモノアリト言フ。本例ノ如ク發病以來二十一年餘、再監置後十一年餘ヲ經過セルモノニ於テハ、家人漸ク看護ニ倦ミ患者ヲ放置スルノ傾アルヲ免レズ。

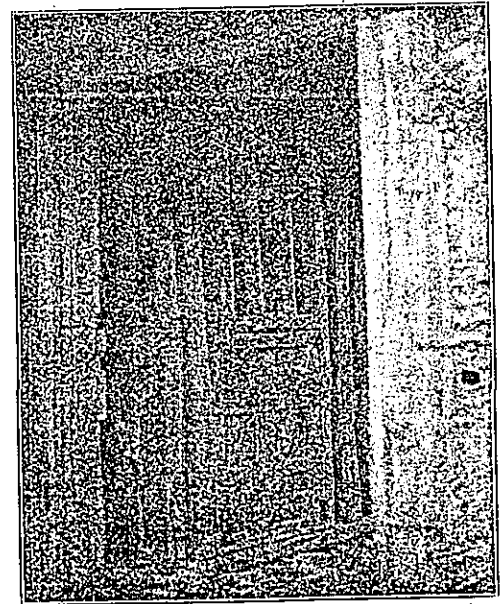
第五十七例

〇〇縣〇〇郡〇〇森大字〇〇町〇〇十一番地。〇田〇吉弟。農。〇田〇吉。明治四年正月六日生。監置ノ理由、毆打。發病、二十一歳頃發病セリ。資産、中等。監置義務者、實兄、〇吉。監置ノ時日、明治三十六年七月十五日。監置ノ理由、毆打。發病、二十一歳頃發病セリ。

(號七十三第)圖附 例七十五第



(號四十三第)眞寫 例七十五第



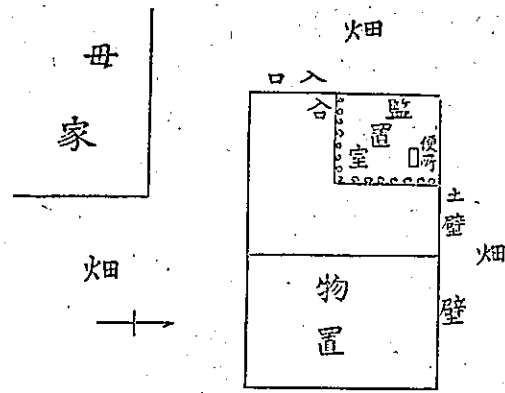
ト云フ。監置室、母家ノ裏ニ當リ、加ノ中ニ建テラレタル土壁納屋ノ中ヲ區劃シテ設ケラル。納屋ハ總テニテ奥行一間半・間口五間・バカリアリ、之ヲ二ニ切り、一ハ物置ニ使用シ、一ハ監置室ニ當ツ。納屋ノ東南及北東隅ニ三尺ニ一間ノ入口アリテ、コレヨリ採光ス。監置室ハ東及北南ノ二方直徑三寸位ノ丸太ニテ五寸距離位ニテ格子作りニシテ高さ一丈アリ、板張天井アリ。東南隅ニ三尺四方ノ入口ヲ設ク。又南側西寄リニ排便口ヲ設ケ、便器ヲ捕込ム。監置室正面ノ右手納屋ノ入口ニ近ク壁ニ二尺ニ三尺ノ窓ヲ穿チ光ヲ採ル。監置室ハ土間ノ上ニ板敷トナシテ、ソノ上ニ藪ヲ置キ、蒲團ヲ敷ク。室内ハ比較的清潔ナリ。病狀、被監置者ハ不行儀ニ坐シ、喃喃獨語シ、身體ハ比較的清潔ナリ。榮養狀態ハ比較的良好。家人ノ待遇、以前ニハ家人附添ヒテ散步セシメタルモ、暴行等ノ危險アリシヲ以テ之ヲ中止シ、爾來室外ニ出サズ。稀ニ入浴セシム。醫藥、時々村醫ノ來診ヲ受ク。家人ハ中流ノ農民ニシテ、看護ハ略々尋常ナリ。室内ノ掃除等多少行届クモノ、如シ。監置室ノ位置ハ非衛生的ニシテ陰濕。採光法モ十分ナラザルヲ以テ室内薄暗シ。

第五十八例

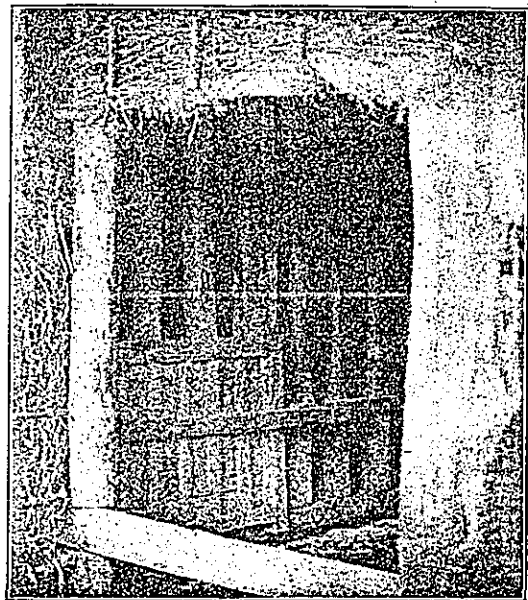
〇〇縣〇〇郡平〇村〇字〇田字〇江〇村〇六番地。農。〇木〇之〇。明治七年一月二十六日。

資産、中等。 監護義務者、實母。 監置ノ時日、明治三十六年七月六日。 監置ノ理由、躁暴、實子ヲ燒火器ニテ突キシ爲メ。 監置室、母屋ヨリ二間許リ距リタル土壁作リノ小屋ノ一室内ニアリ、監置室ノアル室ハ全體ニテ四坪ばかり、西側南寄ニ幅三尺高サ一間ノ入口アリ。入口ニハ扉ヲ掛ク。監置室ハ小屋内ノ西北隅ニ設ケラル。區劃ハ二方格子ニシテ直徑三寸ノ丸ヲ約四寸間隔ニ列フ。高サ一間ノ天井ヲ設ク、天井モ丸大格子トス。南

(號八十三第)圖附 例八十五第



(號五十三第)眞寫 例八十五第



及び東側ノ方面ノミ格子ニテ他二方ハ厚サ六分ノ板敷トス。土間ニ接シ直ニ板敷トナシ、毛布一枚ヲ敷ク。室ノ一隅ニ排便口ヲ設ケ、下ヨリ便器ヲ挿シ込ミ、不潔物ヲ取り去ル機装置ス。 病狀、被監置者ハ裸體ノマ、靜坐シ時々獨語ス。 家人ノ待遇、時々病者

ヲ入浴セシム。病者ガ蒲團ヲ被リ任末ニ困ルノ故ヲ以テ蒲團ヲ與ヘズ。 醫藥、醫藥ヲ受ケシコトナシ。

一 患家ハ中流ノ農民ナルガ、患者ニ對スル看護ハ懇切ナリトハ見エズ。 監置室モ雨天ナドニ際シテハ冷潤ニシテ衛生的ナラズ。換氣法ハ兎モ角、採光法ハ決シテ十分ナラズ。

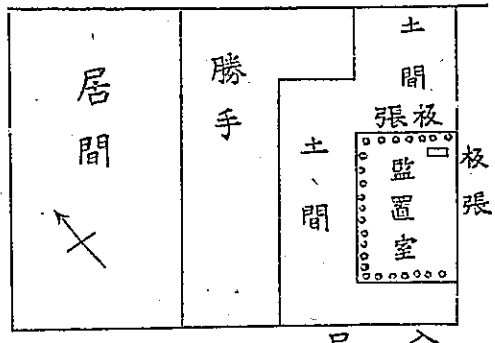
第五十九例

〇〇縣〇〇郡大〇村〇字〇江字〇田四〇四番地。〇吉長男。農。〇藤〇佐〇。明治九年十一月十一日生。

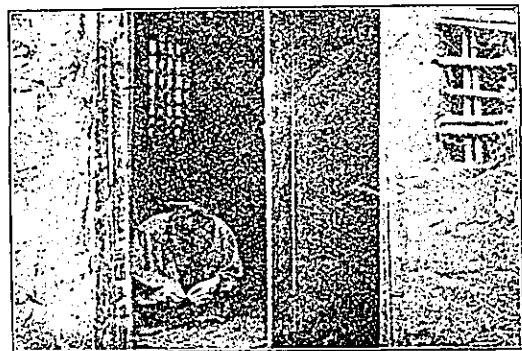
資産、中等。 監護義務者、實父、〇吉。 監置ノ時日、明治三十五年五月十日。 監置ノ理由、暴行、鈍ニテ祖父ヲ殺傷シ、又巡查ヲ傷害セシ爲メ。 監置室、母屋入口ノ土間ニ設ケラル。土間ハ間口二間半、奥行四間アリ。圖ニ示ス如ク、正面右手ニ寄りテ監置室アリテ其奥ハ勝手トナリ、奥ノ左手ニ爐ヲ切ル。土間ヨリ居間ニ續ク監置室ハ二間ニ一間ナリ。四寸角ノ柱ヲ格子トシ二方ヲ圍ミ他二方ハ嚴重ナル板戸ヲ圍ラズ。正面左手ニ三尺四

方ノ入口ヲ設ケ、同ジク正面中央ニ食物ノ差入口アリ、右手ニ排便器挿入口アリ。天井マデノ高サ一間アリ。牀ハ地上五寸位ノ高サニ在リテ板敷トス。監置室ハ一體ニ暗ク且ツ不潔ナリ。 病狀、被監置者ハ裸體ノマ、牀上ニ坐シテ、繩ヲ縛ヘリ。 家人ノ待遇、時時入浴セシムト云フ。 醫藥、醫藥ヲ受ケ居ラズ。 患家ハ中流ノ農民ナルモ、自ラ耕シ勞働ニ迫ハル、ヲ以テ、十分ナル人手ナク、患者ニ對シ十分ナル看護ヲナス能ハサルガ如シ。

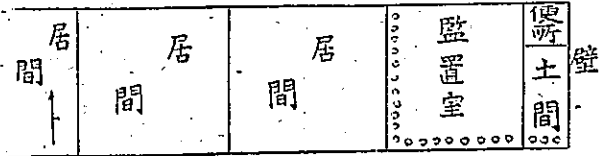
(號九十三第)圖附 例九十五第



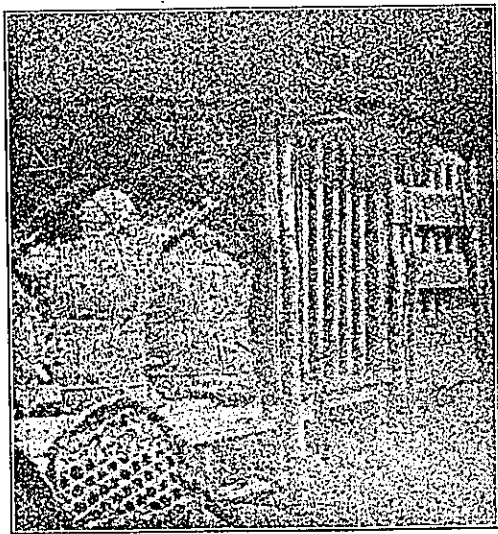
(號六十三第)眞寫 例九十五第



(號十四第)圖附 例十六第



(號七十三第)眞寫 例十六第



第六十例

〇〇縣〇〇郡〇〇村〇字〇〇字〇〇段〇番地。戸主、富〇郎弟。農。〇川〇次。

明治十四年六月十六日生。 資産、中等。 監護義務者、實兄、富〇郎。 監置ノ時日、明治三十五年十二月二十一日。 監置ノ理由、戶外ヲ徘徊シ、作物ヲ荒ラシ、又刃物ヲ弄ビシ爲メ。 監置室、居間ノ一室ヲ改造シテ之ニ充ツ。室全體ハ間口一間半、奥行一間半アリテ、其内一坪ダケハ地上三尺ノ高サニ於テ板敷トナシ二方ヲ格子ニテ圍ヒ監置室トナス。格子ハ二寸角柱ヲ用ヒ間隔三寸アリ。奥ノ右隅ニ便所ヲ設ク。天井ハ板張リトス。監置室ノ周圍ハ細ナリ。

病狀、被監置者ハ低聲ニ何事カラ獨語シツ、薄ベリノ上ニ踞坐セリ。醫藥、目下醫療ヲ受クルコトナシ。

監置室ハ比較的清潔。看護ハ及ブダケ行ヒ居ルモノ、如シ。

第六十一例 ○○縣○○郡○○町○○字○○野赤○○字腰○○二十○番地。戸主、庄○郎兒。農。○牧○之助。

資産、中ノ下。 監置義務者、實弟庄○郎。 監置ノ理由、戸外徘徊・竊盜・放火。 監置ノ時日、明治三十六年四月一日。 監置ノ場所、母家ノ裏手ニ當ル物置小屋ノ一部。小屋ハ間口四間・奥行二間ナリ。 監置室、一坪・高サ一間ナリ。三寸乃至五寸位ノ丸太ヲ四寸間隔位ニシテ四方ヲ圍ム。牀ハ板敷ノマ、ニテ、他ニ敷物ナシ。天井ハ板ナリ。室ノ右手ニ三尺

ニ二尺ノ入口ヲ設ク、一隅ニ排便口アリ。 病狀、被監置者ハ靜穩ニシテ草鞋ヲ編ミ居タリ。

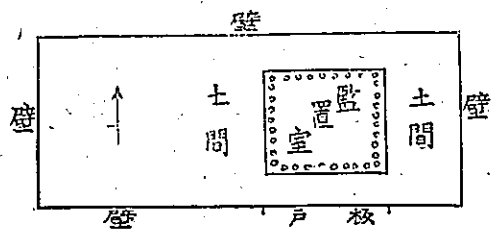
患家ノ家計ハ餘リ豊カナラズ、農家ナルモ看護ハ比較的行届キ監置室モ清潔ナリ。 監置室ノ採光及ビ換氣共ニ十分ナリ。

第六十二例 ○○縣○○郡○○村○○字○○夏○○向○○十○番地。戸主、長○弟。農。三○長○。四十四歳。

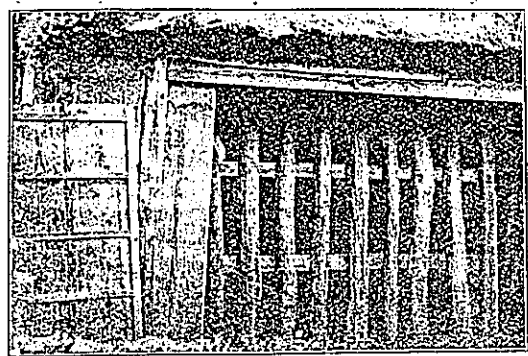
資産、下等。 監置義務者、實兄、長○。 監置ノ時日、明治三十三年九月二十八日(發病後一年)。 監置ノ理由、暴行・戸外徘徊。 監置室、母屋ノ最奥マリタル居間内ニ規定ノ如キ監置室ヲ設ク。其廣サハ二坪二合五勺ナリ、高サ一間、四方共直徑四寸丸

太ヲ四寸間隔ニ圍ラシ、天井モ丸太ニテ格子トナス。左側中央ニ三尺ノ入口ヲ設ク。右隅ニ排便口アリ。居間ハ間口一間半・奥行三間ニシテ南向キナリ。監置室ノ牀ハ板敷ニシテ薄ベリニ一枚ヲ敷ク。病狀、被監置者ハ靜カニ踞坐シ居タリ。 家人ノ待遇、室内ハ可ナリ不潔ニシテ、掃除ナド行キ届キ居ラズ。稀ニ病者ヲ入浴セシム。 醫藥、醫療ヲ受ケンコトナシ。

(號一十四第)圖附 例一十六第



(號八十三第)眞寫 例一十六第



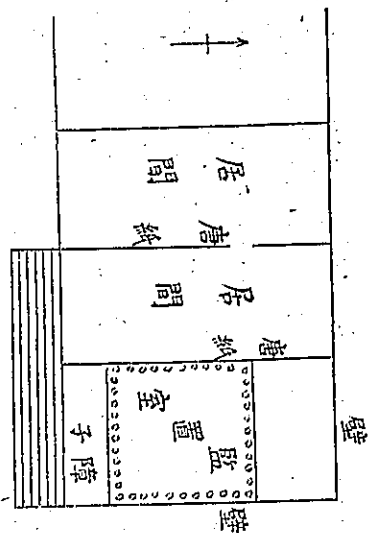
第六十三例 ○○縣○○郡○○田村○○字○○内○○内○○二十○番地。戸主、平○長男。農。○木平○。明治二年二月二十一日生。

資産、下等。 監置義務者、妻○○。 監置ノ時日、明治四十一年九月二十七日。 監置ノ理由、暴行。 監置室、母屋裏手ノ獨立セル一小平

尺ノ入口ヲ設ク。右隅ニ排便口アリ。居間ハ間口一間半・奥行三間ニシテ南向キナリ。監置室ノ牀ハ板敷ニシテ薄ベリニ一枚ヲ敷ク。病狀、被監置者ハ靜カニ踞坐シ居タリ。 家人ノ待遇、室内ハ可ナリ不潔ニシテ、掃除ナド行キ届キ居ラズ。稀ニ病者ヲ入浴セシム。 醫藥、醫療ヲ受ケンコトナシ。

患家ハ下流ノ農家ニシテ日々ノ勞働ニ迫ハレ、到底十分ナル看護ヲナス能ハズ。

(號二十四第)圖附 例二十六第

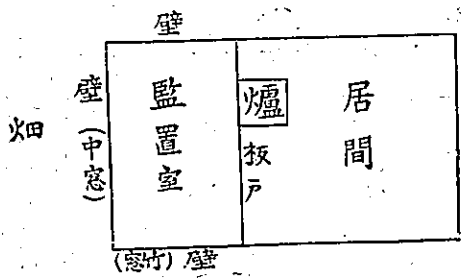


(圖九十三第)眞寫 例二十六第

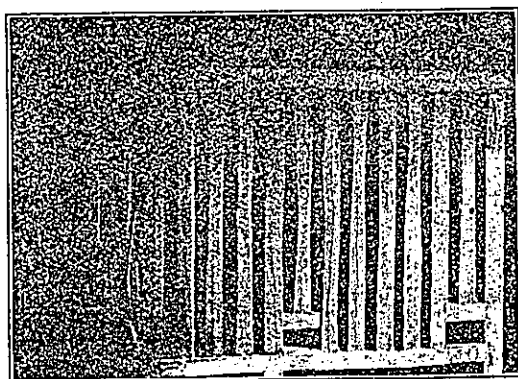


以テ監置室トナス。間口一間・奥行二間アリ。正面ハ板戸ニテ中央ニ窓ヲ設ク。二寸幅ノ格子ニ一寸宛ノ間隔アリ。左側モ全部板戸ニテ中央ニ高サ一尺・幅二尺ノ小窓ヲ穿テ、之ニ「ポト」ヲ挿ス。後面ハ壁トナル。右側ハ板戸ニテ隣室ニ接続ス。隣室ハ十疊間ニテ病室ニ寄リ、三尺四方ノ爐ヲ切ル。此室ハ居間トシテ患者ノ叔母起居シ患者ノ看護ヲナス。 監置室内ハ採光・換氣共ニ十分ニシテ甚闊ク、ソノ詳細ヲ後ヲ述ベズ。 病狀、被監置者ハ不潔ニテ臭氣甚シ、人近クバ罵詈雑言シ唾唾シ之ヲ近クズ、盛ニ獨語ヲナス、其内容ハ言語錯亂ノ爲メ不明ナリ。 家人ノ待遇、被監置者ノ看護ハ叔母ノ手ニヨリテ十分ニ營マル。入浴・散步等ナシ。室内ノ掃除ハ殆ド全ク行ハレズ。 醫藥、之ナシ。

(號三十四第)圖附 例三十六第



(號十四第)眞寫 例三十六第



第六十四例 ○○縣○○郡○○村○○大字○○平○○村

○百〇二番地。平民。伊〇二男、借侶。入〇詔〇。明治十二年二月三十日生。

資産、下ノ中等。監護義務者、實父、入〇伊〇。診斷、躁病。發病、大正三年五月十九日。監置開始ノ時日、大正三年七月三十日。

監置ノ理由、戸外徘徊、躁暴。遺傳記、不明。既往症、内縁ノ妻橋〇〇ガ生家ニ歸リタルヲ以テ再ビ歸來セザルモノト思ヒ之ヲ遺徳トシ爾來

晝夜睡眠セズ、戸外ヲ徘徊シ、獨語、空笑アリ、次第ニ躁暴状態トナレリ。監置室、自宅ノ裏手ニ居室ト密接シテ間口一間半、奥行一間、高さ一間、牀

下約一尺ノ監置室ヲ

作ル。三方ハ板ニテ

圍ヒ、庭ニ面スル一

方ハ粗末ナル杉丸太

ニテ柵ヲ作り、各材

ノ間隙ハ約三寸ア

リ、之ヨリ食物ヲ插

入ス、横ニ三本ノ鐵

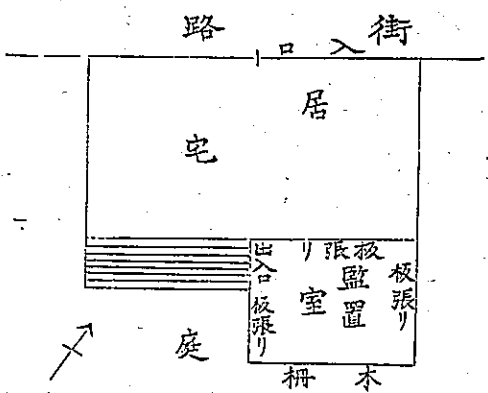
棒ヲ通ス。柵ノ下部

ニハ二尺五寸ノ腰板

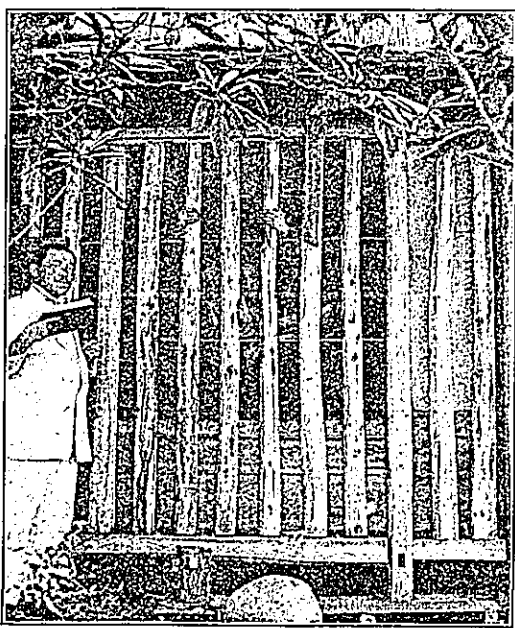
ヲ張り、上部ニモ五

寸幅ノ板ヲ張り、柵

(號四十四第)圖附 例四十六第



(號一十四第)眞寫 例四十六第



ノ兩側モ板ヲ張り詰ム。出入口ハ居室座敷ノ廊下ニ接シテ存シ、三尺四方ニシテ之ニ錠ヲ掛ク。室ノ一隅ニ三寸ニ五寸ノ排便口ヲ牀板ニ開ク。疊ヲ敷カズ、板敷ノ儘ナリ。採光ハ良好ナルモ、日光ノ直射ヲ受クル缺點アリ。換氣稍々其ナリ。病狀、被監置者ハ榮養不真、裸體ニテ臀部ニ蜂窠織炎ノ可ナリ甚ク蔓延セルヲ見ルモ、自覺證狀無キモノ、如ク、盛ニ室内ニ躁暴ス。板壁ニ種々落書シタル跡アリ。不潔症甚ク、糞尿ヲ弄シ、手指ニ糞ノ細片ヲ附着シ、又之ヲ室内ニ塗抹シ、惡臭ヲ放ツ。言語錯亂シテ談話通ゼズ。攝影セントスレバ猿ノ如ク柵ニ飛び附キテ荷證狀ヲ呈ス。家人ノ待遇、不真ニシテ、蒲團アレドモ、蚊帳ナク。掃除行キ届カズ。衣服、食物ノ供給不十分ナリ。洗濯沐浴ハ穩ニ之ヲ行フニ過ギズ。戸外運動ナシ。主治醫無シ、醫藥ヲ受ケズ。警察官ノ視察、一箇月ニ數度。

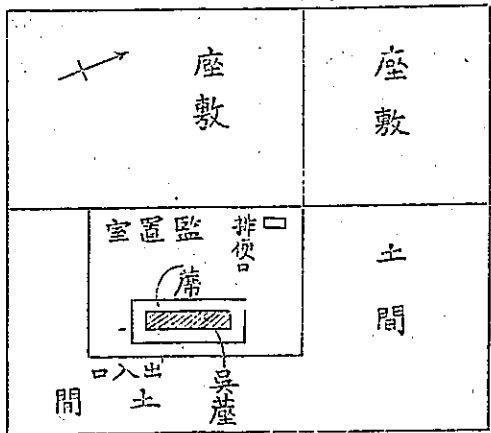
第六十五例

〇〇縣〇〇郡〇〇町大字新〇村二十〇番地。平民。戸主、農。柴〇六〇。明治十一年七月十日生。

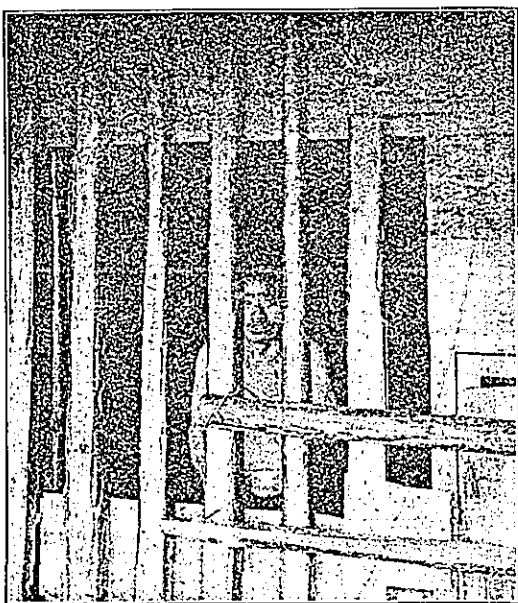
資産、貧困甚シキモノ。監護義務者、妻、柴〇三〇。診斷、早發性癡呆。發病、明治四十一年九月十五日。監置ノ時日、明治四十二年十二月一日。監置室使用許可、同年同月九日。監置ノ理由、粗暴過激ニシテ戸外ヲ徘徊シ、火ヲ弄シ、他人ニ危害ヲ加ヘン爲メ。遺傳記、不明。

既往症、初メ神經衰弱證狀ヲ呈シ刺戟性ニシテ怒リ易カリシガ、明治四十一年中ヨリ社會的危險性ヲ帶ブルニ至レリ。監置室、室ハ入口ノ土間ノ一部ヲ仕切リテ其内ニアリ。一間四方、高さ一間、牀下約一尺ニシテ、古キ杉丸太及ビ古板ヲ寄セ集メテ造リタルモノナリ、即大小不同ノ削ラザル杉丸太ノ節多キヲ四方ニ樹テ並べ其上部及ビ下部ニ古板ヲ配ス。各柵材ノ間隙約五寸アリ。前面ノ

(號五十四第)圖附 例五十六第



(號二十四第)眞寫 例五十六第



一方ニアル出入口ハ三尺四方アリテ、従前ハ之ニ蝶番ヒニテ扉ヲ附セシガ、蝶番ヒガ破損セシヲ以テ、目下ハ扉面ニ更ニ二本ノ杉丸太ヲ上下ニ横列シ、其兩端ヲ針金ニテ柵柱ニ結束シ鎖輪ノ代用トス。室内ニハ燈ナク、板牀上ニ一枚ノ蓆ヲ敷キ、其上ニ更ニ一枚ノ蓆ヲ敷ク。室ノ一隅ニ五寸四方ノ孔ヲ鑿チテ排便口トナス。採光・換氣ハ普通ナリ。食物ハ柵ノ間隙ヨリ挿入ス。病狀、被監置者ハ衣服ノ支給アルモ之ヲ著セズ、裸體ノ儘ナリ。家人ノ待遇、貧困ナルヲ以テ十分ナル能ハズ。蒲團・蚊帳ヲ支給シアレドモ不潔ナルモノナリ。沐浴・更衣ハ時々之ヲ行フ。食物ノ支給モ亦満足ノ程度ニアラズ。戸外運動ハ之ヲ缺ク。醫治、主治醫ハ警察ノ望帳ニハ其名義ヲ記載シアレドモ、實際ニ於テハ目下來診スルニアラズ。醫治ヲ受ケズ。警察官ノ視察、一箇月ニ數度ナリ。

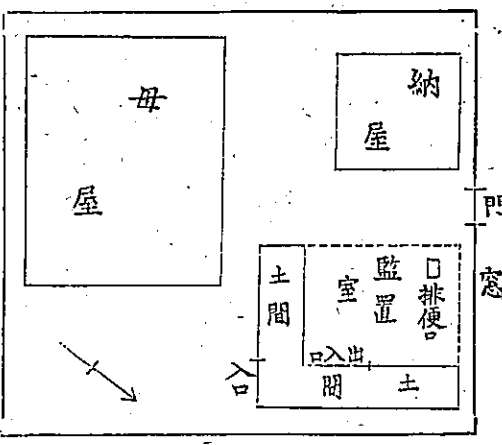
第六十六例

原籍、〇〇縣〇〇郡〇〇市〇〇町〇〇百〇十八番地。

監置場所、〇〇縣〇〇郡〇〇田村大字中〇田〇千〇百十〇番地。農。堀〇〇郎。明治元年二月十六日生。

資産、生活ニ困難セザル程度。 監護義務者、從兄弟、堀〇勝〇郎。 診斷、變質性精神病。 發病、明治二十四年未詳月未詳日。 監置ノ時日、大正三年六月二十日ニシテ監置室使用許可ハ大正三年六月二十三日ナリ。 監置ノ理由、浮浪。 遺傳記、不明。 往既證、生來變質ニシテ明治二十四年中ヨリ特ニ異常行爲アリ、飲酒、手淫、猥褻行爲多ク、常ニ傲岸ニシテ誇大ノ言辭ヲ吐露シ、若シ他人ノ之ニ忠告シ、之ヲ誡ムルガ如キコトアラバ、却ツテ腕力ヲ以テ之ニ反抗スルコト屢ナリキ、大正三年二月道路徘徊中、浮浪罪ヲ以テ〇〇市立治療病院〇〇院ニ之ヲ收容シ、其監置室(寫眞第六十四號參シ)ニシテアリ。 次テ〇〇警察署ニ護送セラレ、六月、〇〇市長ガ監護義務者トナリテ〇〇市立治療病院〇〇院ニ之ヲ收容シ、其監置室(寫眞第六十四號參照)ニ監置セラレ居リシガ、其後官衙ニテ監護扶養義務者ヲ發見セシヨリ、患者ヲ自宅ニ引キ取ラシメ、同年七月自宅ナル監置室ニ收容セシメタリ。

例六十六第 (號六十四第)圖附



監置室、母屋ノ前面ニアル納屋ヲ以テ監置室ニ充ツ。室ハ間口二間・奥行一間半・高さ一間半・牀下一尺五寸アリ。三方ヲ板圍ヒトナシ、一方ハ三寸角材木ニテ柵ヲ作り、横ニ二條ノ鐵棒ヲ通ズ、各材ノ間隙ハ四寸アリ。出入口ハ高さ四尺・幅三尺ニシテ之ニ錠ヲ下ロス。二方ノ板圍ヒ上部ニハ採光窓二箇所アリ、採光・換氣尋常ナリ。牀ハ板敷ナリ。排便口・食物差入口ノ設備アリ。 病狀、被監置者ハ理解力・注意力相當ニ佳良ニシテ、視察者ニ對ヒ切リニ冤罪ヲ以テ監禁セラレタリト告グ。榮養中等ニシテ不潔ナル衣服ヲ著ス。 家人ノ待遇、尋常トス。監置室ノ牀上ニハ藁一枚ヲ敷キ、蒲團・蚊帳ヲ支給シ、團扇・新聞ノ備ヘアリ。 醫藥、主治醫ナク、醫藥ヲ受ケズ。 警察官ノ視察、一箇月ニ二、三度ナリ。 本監置者ハ前記セル如ク一時〇〇市長ガ監護義務者トナリテ之ヲ前記ノ治療病院ニ監置シタルモノナルガ、其後官衙ニテ患者ノ四等親中ニ扶養ノ義務アルモノヲ發見シ、患者ノ從兄弟ナル堀〇勝〇郎ニ監護義務者タルコトヲ指定シタルモノニシテ(精神病者監護法第八條)、從ツテ市役所ハ村役場ヲ經テ在院中ノ費用ノ追徴ヲ扶養義務者ニ要求シタリ(同第十條)。 患者ニテハ勿論是等ノ法理ヲ辨ヘ居ラズ、且ツ之ガ支辨ハ其資産ニ對シ輕カラザル負擔ナルヲ以テ、非常ニ苦慮當惑シ、視察者ニ訴フルコト屢々トシテ絶エズ。

第六十七例

〇〇縣〇〇市〇〇寺村七〇五番地。 青物行商。 田〇せ〇。 明治二年二月二十五日生。 監護義務者、夫。 資産及ビ生活ノ程度、被監置者モ監護義務者モ資産ナシ。 監護義務者タル夫〇歳ハ青物行商ヲナシ一日四十錢内外ノ収入アルモ、酒ヲ嗜ミ之ガ爲メニ毎日收入ノ半バヲ消費ス、且ツ幼少ナル實子二名ヲ扶養セザルベカラザルヲ以テ殆ド扶養ノ義務ヲ盡スコト能ハズ。 故ニ事實ニ於テハ其弟、大〇町〇丁目田〇玉〇ガ扶養費ヲ支出シ居ル有様ナリ。 監置ノ時日、明治四十一年十月三日。 監置ノ理由、時ニ或ハ暴行ヲ爲シ又風俗ヲ

壞亂セシコトアルニ由ル。 監置室、小屋ノ一隅ヲ改造シテ之ニ充テタルモノニシテ間口一間・奥行九尺・高さ牀上ヨリ天非迄六尺五寸、構造ハ格子ノ松丸木ノ極メテ粗末ナルモノニシテ、牀ハ板敷ニシテ燈ヲ敷ケリ。 採光・換氣ハ著シク不都合トハ認メザルモ十分ナラズ。 便所ハ監置室内ノ一隅ニアリ。 洗面所ノ設ケナシ。 家人ノ待遇、家人ハ被監置者ヲ虐待スルガ如キコトナク、被監置者沈靜ニ歸スルトキハ一日モ早ク其全快センコトヲ希フモノノ興奮スルトキハ寧、其死ヲ希望スルコトアルノ觀アリ。 三度ノ食事ハ家人同様ノモノヲ與ヘ、又間食トシテ薯・豆類ヲ與ヘ居レリ。 戶外運動ナシ。 室内ノ掃除ハ毎日之ヲ爲セリ。 衣服ノ供給及ビ洗濯ハ十數日ヲ經レバ洗濯ノ供給スルヲ常トスレドモ、夏季ハ四、五日毎ニ著替シム。 沐浴ハ一週二回ヲ常トス。 病狀、時々沈靜シ柔和ニ歸スルコトアルモ、忽ニシテ發病シ、妄ニ他人ヲ罵詈雑言シ、或ハ大聲放歌スルヲ常トス。 大小便ハ病者自ラ之ヲ辨ズルヲ以テ其介補ヲ要セズ。 醫藥、發病當時ハ大〇町〇丁目醫師業ヨリ診察ヲ受ケ、一週一回之ヲ聘シ居リシモ、視察時ニハ絶エテ之無シ。 警察官ノ視察、毎月巡査部長以上一回、巡査二回トス。

第六十八例

〇〇縣〇〇郡〇〇村〇〇字〇〇内。 〇〇地〇一郎。 明治元年四月二十四日生。 監護義務者、兄。 資産及ビ生活ノ程度、被監置者ハ無資産ナルモ、義務者ハ資産九千圓位ヲ有シ生計豐カカリ。 監置ノ時日、明治三十三年八月三十一日。 監置ノ理由、暴行。 監置室ハ別建物トシテ造リタルモノニシテ、幅一間・奥行一間・高さ七尺。 構造ハ丸太及角材ノ混合格子ニシテ、牀ハ板敷リニシテ敷ク。 其構造粗ナル方ナリ。 採光・換氣ハ不十分ニシテ、便所ハ監置室内ノ一隅ニ設ケリ、其下ヲ漆喰トナシ、外部ヨリ排泄物ヲ取出ス装置トナス。 洗面所ノ設ケナシ。 家人ノ待遇、寧、良好ナル方ニシテ、三度ノ食事ハ生活費ナルヲ以テ食物等モ十分ニ之ヲ給ス、屋外運動ナク。 室内ノ掃除ハ十日目ニ一回位ニシテ、衣服ノ供給及ビ洗濯ハ時々衣ヲ供シ、時々洗濯ヲナス。 沐浴ハ十日目ニ一日湯湯ヲ以テ行水ヲ爲サシム。 病狀、常ニ大聲ヲ發シ時時號叫・舞蹈スルコトアリ。 大小便ハ患者自ラ辨シ、介補ヲ要セズ。 醫師ノ診察、監置後一回モ醫師ノ診察ヲ受ケタルコトナシ。 警察官ノ視察、一箇月一回警察官臨檢ス。

丁 甚不良ナルモノ

第六十九例

〇〇府〇〇郡〇〇尾〇村。 鈴〇〇〇郎。 四十八歳。 監置室ハ小屋ノ後方、軒下ニ増設セシモノニシテ常ニ全ク之ヲ鎖閉シ、四五年前、糞糞ヘヲ爲セル時唯一回開扉セシコトアルノミナリ。 家人ノ待遇室内掃除ハ全ク等閑ニ附セラレ、其他寢具・被服ハ其弊汚ニ委シテ省ラレズ。 此監置室ヲ視察シテ殊ニ寒心ニ堪ヘザリシハ堅牢ナル監置室ノ鐵錠ガ腐蝕・融合シテ、如何ニシテモ月ヲ開クヲ得ザリシコトナリ。 視察者ハ鐵錠ヲ用ヒ力ヲ籠メテ辛ウツテ之ヲ破壞シ、開クヲ得タリ。 此ノ如キ狀態ハ一朝火災若クハ非常時ヲ回慮スル時ハ實ニ戰慄ニ値スルモノト謂フベシ。 願フニ是レ看護者ノ大ナル等閑若クハ誤解ニ出テタルモノニシテ、患者ノ無智ナルコト誠ニ驚クニ堪ヘタリ。 此例ニ依リテモ警察官ノ巡視ガ如何ナル程度ニ於テ行ハル、カラ推察シ得ベキナリ。

第七十例

○縣○郡○村○田○九〇。平民、戸主、農、岡○太郎。四十

歳。資産、下ノ上ナリ。

監護義務者、母。

監護ノ時日、明治三十三年九月。

監置室ハ居室ノ裏手ニ

アリタル物置小屋ヲ改造シテコレニアタルモノニシテ、間口一間・奥行一間・高サ七尺五寸アリ。出入口ハ間口ニアリテ高サ一間・幅三尺ノ木戸ヲ設ク。此木戸ノ他ハ、凡テ板圍ヒトナシ、後方ニ幅一尺高サ五寸ノ窓ヲ穿ツノミ。牀モ板敷ニシテ、炭塵敷枚ヲ敷キ、疊ノ代用トナス。

牀下ハ殆ド

無ク、地ハ

濕潤甚シキ

ヲ以テ室内

モ亦濕潤

ス。採光・換

氣不良ニシ

テ且ツ四圍

ノ板圍ヒノ

板ハ五ニ密

接セズ、其ノ間多少ノ隙隙ヲ存スルヲ以テ、寒冬ニ於ケル所

謂隙キ間風ノ侵入甚シキヲ想ハシム。

病狀、被監置者ハ不潔ナル衣服ノ支給アレドモ之ヲ著セズ、

裸體ノマ、室内ニ横臥ス。

全身ニ浮腫ヲ認ム。

家人ノ待遇、家人ハ居室ニ患者ノ老母一人住ス

ルノミ、七十餘歳ノ頑胎ニテ被監置者ニ對スル注意取扱ヒ甚行キ届カズ。蒲團蚊帳ノ支給ナシ。

第七十一例

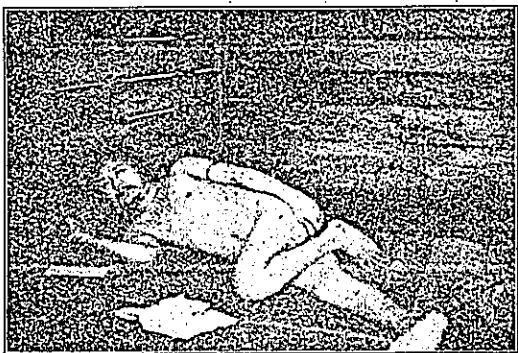
○縣○郡○町○字○塚。農、菊○安○郎。慶應二年八月生。

監護義務者、子、〇一。

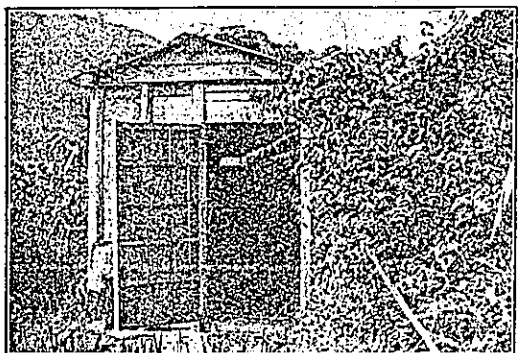
資産、居室、宅地及ビ田三反八畝如三反八畝ヲ所有ス。

監置ノ場所

(號三十四第)一其眞寫 例十七第

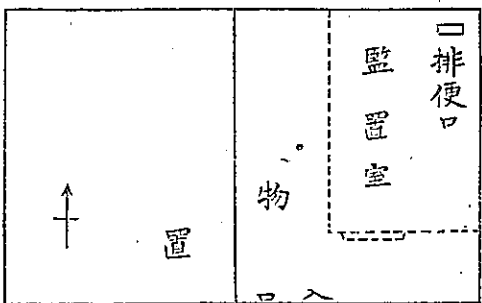


(號四十四第)二其眞寫 例十七第

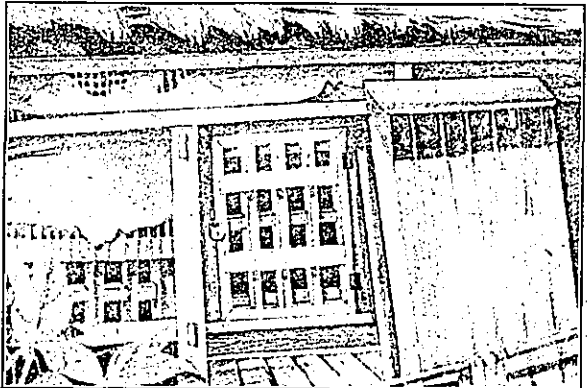


○縣○郡○村○田○九〇。平民、戸主、農、岡○太郎。四十

(號七十四第)圖附 例一十七第



(號五十四第)眞寫 例一十七第



ハ住宅ヨリ略々十間ヲ隔テタル物置ノ一部ニ在リ。監置室、長サ九尺・幅六尺・牀下一尺・牀ヨリ天井マテ六尺五寸。家根ハ草葺ニシテ天井及ビ牀ヲ板張リトナス。東面及ビ北面ハ塗壁ニシテ其内部ニ厚板ヲ張リ。西及ビ南ニ面スル側ハ二寸角材ヲ三寸ノ間隔ヲ以テ樹テ竝ベ、之ニ上下二個所ニ横貫ヲ入レ格子造リトナス。南面ノ下方ニハ二尺五寸方ノ同構造ノ格子戸ヲ備ヘ、之ニ錠ヲ附ス。室ノ東北隅ニ小ナル排便口ヲ具フ。換氣・採光ハ十分ナラザルガ如シ。病狀、被監置者ハ顔面蒼白ニシテ榮養甚佳ナラズ。視察時ニハ寤解期ニアルガ如キモ、重聽ニシテ談話十分ナラズ。家人ノ待遇、食事ハ普通ニ與フルモ、入浴等ハ行ヒタルコトナシ。警察官ノ視察、一箇月二、三回。

第七十二例

○縣○郡○町○字○清。漁業、森○藏。三十七年。

監護義務者、兄○次郎。

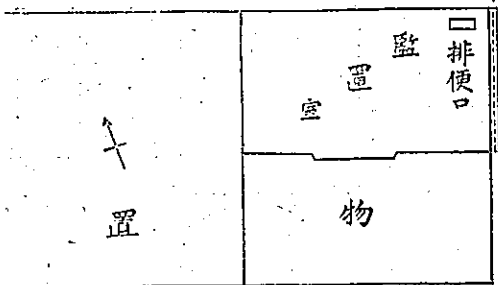
發病、四年前。

監置ノ理由及ビ時日、

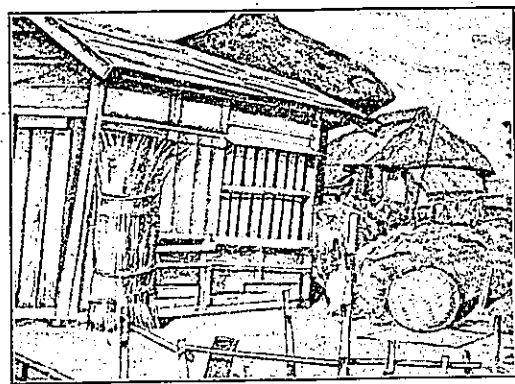
發病後、一時ハ輕快シ漁業ニ從事セシコトアリシガ、大正元年十二月再ビ發病シ、他人ニ對シ暴行セシ爲メ監置セララルニ至レリ。

監置ノ場所ハ海岸ニ建テタル物置ノ一部ナリ。監置室、上記物置ノ一部、海ニ面セル東側六尺ヲ板張リトナシ、中部三尺位ヲ窓トシ、幅三寸又ハ四寸位ノ厚板ヲ一、二寸ノ間隔ニ立テ横ニモ同形ノ横貫一本ヲ入ル。其外部ニ板戸アリ。南側九尺ハ板張リニシテ中央三尺・高サ四尺ヲ入口トシ、板戸ヲ立テ、錠ヲ備フ。西及ビ北面ハ塗壁ニシテ之ニ貫板ヲ入ル。牀ハ板張リニシテ牀下一尺アリ、東隅ニ排便口ヲ具フ。牀ヨリ天井マテ凡ソ六尺アリ。換氣ハ十分アルガ如キモ、採光ハ不完全ナリ。病狀、被監置者ハ榮養ハ不良ナラザルモ、破衣ノ辯アル爲メ、一見慘澹タル狀ヲ呈ス。時々與瀆シテ大聲ヲ發シ、亂暴ヲ行フト云フ。家人ノ待遇、被監置者ハ一

(號八十四第)圖附 例二十七第



(號六十四第)眞寫 例二十七第



箇月數回室内ニテ沐浴ヲ行ヒ、理髮・洗濯モ十分行ハル、ガ如シ。警察官ノ視察、一箇月二、三回。

第七十三例

○縣○郡○眞○村○字○井。草○長○郎。二十六年。

監置義務者、父、〇吉。

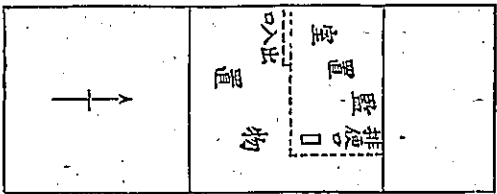
資産、下流ノ農家ナリ。

監置ノ理由及ビ時日、發病以來時々父母ニ對シテ暴行ヲ行ヒシコトアリ、一時東京府巢鴨病院

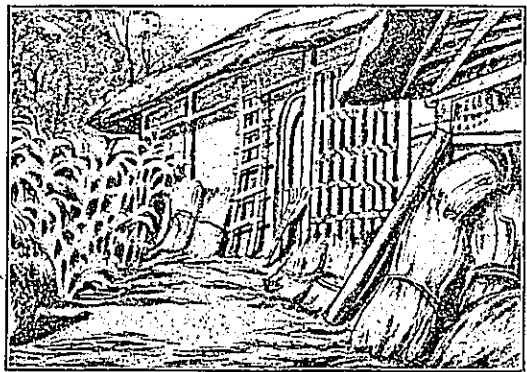
ニ入院セシメタルコトアルモ其費用ニ堪ヘズ。明治四十三年七月ヨリ自宅物置ノ一部ニ許可ヲ得テ之ヲ監置セルモノナリ。監置室ハ葦葺ノ粗造ナル

物置の一部ニ在リテ、長サ九尺、幅六尺ヲ格子ヲ以テ割シタルモノトス。牀ハ板張リトナシ、地上二尺ノ高サニアリ、牀ヨリ天井マテ六尺アリ。北面ハ在

例三十七第 (號九十四第) 圖附



例三十七第 (號七十四第) 眞寫



來ノ壁ヲ利用シ、他ノ三面ハ格子様ノ装置トナス、即、丸太又ハ厚キ貫板ヲ針金ヲ以テ結び附ケタルモノナレバ、一見頗ル慘澹タル光景ヲ呈シ到底人ノ子ヲ起牀セシムベキ所トモ思ハレズ。南側ノ西窓ノ下部ニ幅二尺、高サ三尺ノ同構造ノ扉アリ。出入口ニ供セラル。東南隅ニ排便口ヲ具ス。病狀、被監置者ハ監置セラレタル後、一度自ら監置室ヲ破リテ出テタルコトアル以外ニハ一回モ室外ヲ散步セシコトナシ。榮養稍、不良ニシテ顔面蒼白、且ツ身體一般ニ甚不潔ナリ。家人ノ待遇、被監置者ニ對シ相當ニ同情アルガ如ク、食事モ家族ト同等ノ物ヲ與ヘタルモノ、如クナレドモ、入浴・戶外運動等ハ全ク之ヲ行ハズ。蓋、其生活程度ヨリ觀察スレバ待遇ノ此ノ如キハ已ムヲ得ザルモノナラン。

第七十四例

〇〇縣〇〇郡〇辻村白〇八〇番地。農。酒油商。金〇〇三〇。五十九歳。

監置室、被納小屋ノ一部分ニ之ヲ設ク。幅四尺、高四尺(立ツコト不能)。長サ九尺アリ。頑丈ナル丸太ヲ用ヒテ三方ヲ格子造リトナシ、一方ヲ壁塗リトナス。室内ニ便所ヲ作ル、壁ノ一部ニ一小土壇ヲ作り、蚊遣火ヲ燻ク場所トス。家人ノ待遇、板敷ノマ、ニテ牀上ニ疊ナシ、夜具類ノ支給モ十分ナラズ、然レドモ妻子ノ被監置者ニ對スル態度ハ不親切ト稱スル程ニハアラズ。病狀、被監置者ハ被害妄想ヲ有シ、食物ニ對スル嫌惡甚ク、少シニテモ疑念ヲ懷キタル食物ハ決シテ之ヲ食セズ。故ニ時トシテ水ト蕎麥粉トノミヲ食シテ月餘ニ互ルコトアリ。祈禱・迷信、(イ)家族ハ成田不動ヲ信心ス。御嶽山ノ信者ガ親族ニアル故之ヨリ祈禱ヲ受ケタリ。又、狐ヲ落ス爲メニ祈禱ヲ受ケタルコトアリ。(ロ)臍ノ緒ノ乾枯セルモノヲ煎浸シテ患者ニ服用セシメシコトアリ。(ハ)糞場ニテ人知レズ穴ヲ穿テ、棺側ヲ破リ、屍體ノ骨ヲ切り取り、盜ミ歸リテ、之ヲ煎浸シテ患者ニ服用セシメシコトアリ。患者ニハ被害妄想アルヲ以テ家人ハ非常ニ苦心シテ前記ノ二劑ヲ服用セシメタリト云フ。

第七十五例

〇〇縣〇〇郡〇〇村〇野〇七番地。大工。運〇〇郎。三十一歳。資産。下等。監置室ハ被納小屋内ニ之ヲ作ル。二間ト二間半トニシテ、二間ノ方ハ五寸ノ角材ヲ一尺ヲキニ立テ竝べ、後方ニ一小窓アリ。牀低ク牀

板濕潤シテ、且ツ不潔ナリ。疊ナク、筵ナシ。室内ニ便所ノ設ケナシ。家人ノ待遇、衣類ハ何枚與フルモ盡ク之ヲ破壊スト云フ。視察時ニハ被監置者ノ被服ハ臍垢ニ浸ミ果テ、汚穢限リナカリキ。蚊帳・蒲團ノ支給全クナシ。食物ハ患者ガ實父母ニ養ハル、ガ故ニ十分ナガラモ時トシテ嗜好品ヲ與ヘラルコトアルモノ、如シ。病狀、頭髪蓬々トシテ六七寸ニ及ビ、爪亦甚長シ。作業ノ爲メ藁ヲ與フレバ異様ナル繩(皆之ヲ左旋ニ編フ)或ハ草鞋樣ノ物ヲ作ルモ、毫モ使用シ得ベキ程度ノモノニアラズ。此製作品ハ果々トシテ四壁ニ懸ケ連テアリタリ。醫藥、發病當時ハ暫ク醫藥ヲ用ヒタルコトアルモ、効ナカリント云フ。

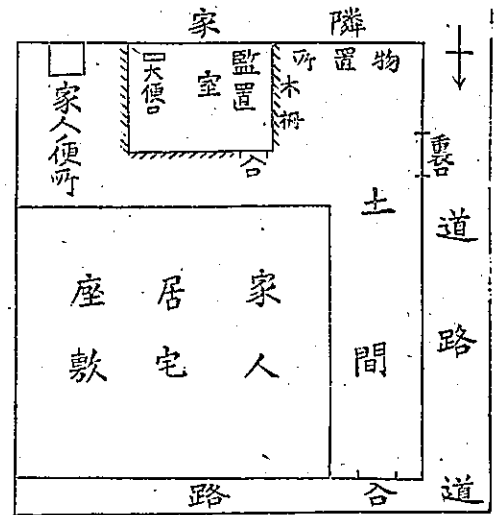
第七十六例

〇〇縣〇〇郡〇〇町〇〇字〇〇一〇九。茶商。新〇伊〇郎。五十歳。資産、赤貧。監置室ハ物置小屋ノ一部ニ之ヲ作り二方ヲ格子圍ヒトナス。牀低ク濕潤シ居リテ且、不潔ナルコト限リナシ。室内ニ便所ノ設ケアリ、惡臭ヲ發ス。廳具・衣服・蚊帳等與ヘアルモ垢ジミタリ。祈禱、祈禱ヲ受ケタルコトアリ。今其有様ヲ略述スレバ、御嶽山ノ先達ナル巫女ガ祭壇ニテ祈禱ヲナシ、患者ノ代理トナルベキ人ガ幣束ヲ持テ其傍ニアリ、病氣ハ狐狸ノ所爲ニヨリ起ルモノト看做シテ、祈禱ニヨリテ其代理者ニ就キテ狐狸ノ被事ヲサントスルナリ。代理者ガ祈禱ヲ懸ケラレテ夢中トナルトキ、之ヲ問責シテ、後ニ焙烙ニ線香ヲ燻キテ其中ニ患者ノ姓名ヲ書キタル紙ヲ投ジ占ヲ立テ、紙片若シ上騰セバ狐狸ハ去ルナリト云フ。醫藥、殆ド之ヲ用ヒズ。民間藥モ用ヒズ。

第七十七例

〇〇縣〇〇村〇〇ケ〇田〇一番地。湯屋業。鈴〇〇藏。明治九年二月生。監護義務者、實母、鈴〇〇。視察時ニハ湯屋業ヲ廢メ、駄菓子ヲ賣リテ僅ニ糊口ヲ凌グニ過ギズ。監置ノ時日及ビ其經過、明治三十三年拾月十八日以來十箇年十箇月ナリ。監置ノ理由、戶外ヲ徘徊シ又他人ニ暴行シタルガ爲メナリ。(實母ノ陳述) 監置ノ場所、本宅ノ一部物置内ナリ。監置室、物置ヲ改造セルモノニシテ、間口一間半、奥行一間ヲ有シ。四壁ハ悉ク三寸五分幅ノ丸太杉材ノ格子ヲ以テ圍ラシ、其外方ニ粗板ヲ打附ケタレバ、室内闇黒ニシテ且、牀下僅ニ四五寸ニ過ギザレバ室内濕氣甚シ。牀上ニハ一枚ノ薄蒲ヲ敷ク、便所ハ左後方ノ一隅ノ牀板ニ小孔ヲ鑿テ之レニ充ツ。其他室内ニハ古枕一個、單衣一枚、茶瓶及ビ被監置者ノ製作ニカ、ル紙製製ノ細繩一束アリタリ。家人ノ待遇、實父ハ疾ク死シ、獨り老母ノ手ニヨリテ誠實ニ看護セラル。三食尋常、沐浴・運動行ハレズ。時々身體ヲ拭ヒタルコトアリトイフ。病狀、被監置者ハ被監・垢面ニテ作業ニ従事ス。醫藥、醫治ヲ受ケシコトナシ。警察官ノ視察、一年ニ二、三回時官ノ來リ訪フコトアルモ、唯被監置者ノ安否ヲ訊ヌルニ過ギズト云フ。

(號十五第)圖附 例七十七第



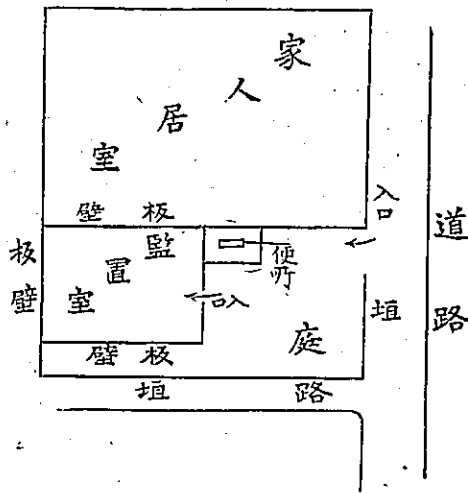
第七十八例 ○○縣○○郡○○町○○内○○四番地。松○○○。明治六年不詳月日生。

監護義務者、松○○○。資産、中等不動産ナシ。監置ノ時日及び其經過、明治三十六年八月以來約八箇年。監置ノ理由、被監置者ハ病初發ニ陥リ居タリシガ其後突然他人ニ暴行ヲ加ヘ、不潔甚シキニ至リシガ爲メナリ(監護義務者ノ陳述)。監置ノ場所、本宅ノ一側ニアル庇ヲ利用シテ之ニ監置室ヲ建テ添ヘタルモノトス。監置室、間口四尺・奥行一尺、天井ナク、屋根裏ノ高サ僅四尺ニ滿タズ。牀ノ高サ亦一尺ニ足ラズ。入口ノ他ハ全部粗末ナル板圍ヒト爲ス。採光・換氣共ニ不長ナリ。便所ノ装置トシテハ牀板ニ小孔ヲ鑿テタルモノニシテ入口ノ右側ニ在リ。家人ノ待遇、不長。監置室内ニハ燈一枚・夜具一枚ヲ支給シタルノミ。醫藥、醫藥ヲ試ミタルコトナシ。

第七十九例 ○○縣○○郡○○町○○一○○四番地。池○○○藏。明治十一年八月二十五日生。

監護義務者、實父、池○○○。資産、下等。日稼ニ依リ六、七拾錢ヲ得ルニ過ギズ。監置ノ時日及び其經過、明治三十七年三月以降七箇年五箇月。監置ノ理由、戶外ヲ徘徊シ他人ト喧嘩スルガ爲ナリ(實母ノ陳述)。監置ノ場所、居室ノ側壁ニ監置室ヲ建附ケタルモノトス。監置室、廣サ二坪即間口一尺・奥行二間ニシテ、天井ノ高サ九尺、牀ハ地上ヲ離ル、コト約二尺アリテ板敷トス。室ノ周圍ハ總テ約四五寸徑ノ丸太ノ縦柵ヲ以テ密ニ繞ラセルガ故ニ室内闇黒ナリ。家人ノ待遇、以上ノ構造ヨリ見レバ餘リ嚴ニ失スルガ如クナルモ、被監置者ハ管テ數回逃走セシコトアルニヨルト云フ。醫藥、醫治ヲ受ケ居ラズ。

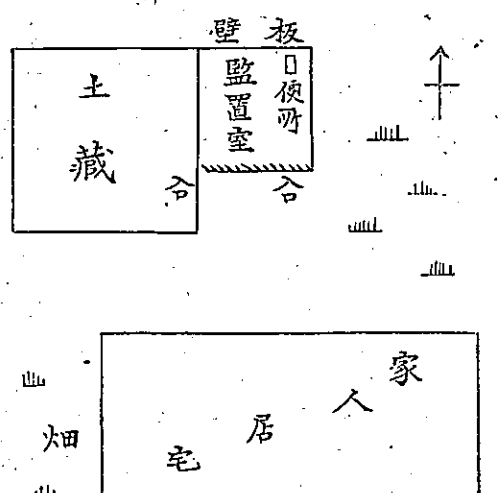
(號一十五第)圖附 例八十七第



第八十例 ○○縣○○郡新○○村新○○一○○八番地。農○○○。明治七年四月七日生。

監護義務者、實母、櫻○○○。生活程度、下等、資産ト名ヅクベキ程ノモノナシ。監置ノ理由及び經過、明治三十三年十一月十四日監置ヨリ觀察當時マテニ約十箇年十箇月ヲ經過セリ。監置ノ理由、患者ハ最初發症ニシテ一室ニ閉居セシガ、其後暴行シテ他人ニ咬ミ附キ器物ヲ投破スルコトアリシニヨリ之ヲ監置セリ(實母ノ陳述)。監置ノ場所、本宅ノ裏手ニアル土藏ノ底下ヲ利用ス。監置室、間口五尺・奥行一尺、牀ノ高サ僅ニ五寸ニ過ギズ、天井ナシ。室ノ前方ノミニ徑三寸ノ木柵ヲ設ケ、其他ハ粗末ノ板ヲ張ル。便所ハ室ノ奥ナル一隅ニ小孔ヲ鑿テテ之ニ充ツルモ、被監置者ハ之ニ便スルコト稀ニシテ、恣ニ放尿脱糞スルガ故ニ室内ヨリ發スル惡臭甚シ。其他室内ニハ薄菜一枚腐敗セル握飯一個ヲ認ム。家人ノ待遇、家人ハ被監置者ヲ以テ不治ノ病者ト看做シ、多少之ヲ厄介視スル如キ感アルヲ認ム。病者ノ沐浴・運動ヲ行フコトナシ。醫藥、醫治ヲ受ケタルコトナシ。醫藥官ノ觀察、甚稀ナルガ如シ。

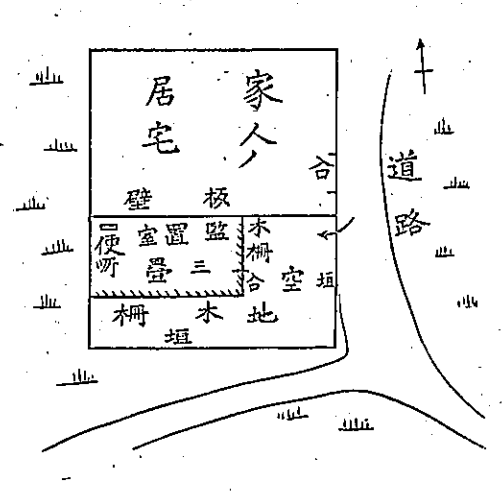
(號三十五第)圖附 例十八第



第八十一例 ○○縣○○○郡○○地村○○十番戶。平民、農○○○。六五

監置室ハ規定ノ坪數ナク、甚不完全ナルノミナラズ、食物モ既ニ腐敗セルモノヲ病者ノ言フガ儘ニ室内ニ放置スル等、衛生上許スベカラザルモノアリ。觀察者ハ此等ノ點ニ就キ家人ニ警告スル所アリキ。

(號二十五第)圖附 例九十七第

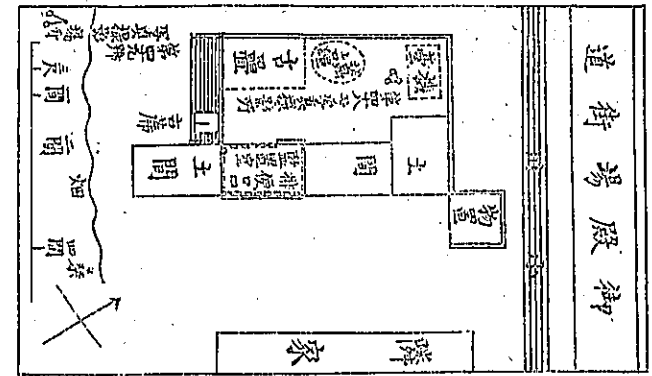


す。明治二十年十二月二十一日生。

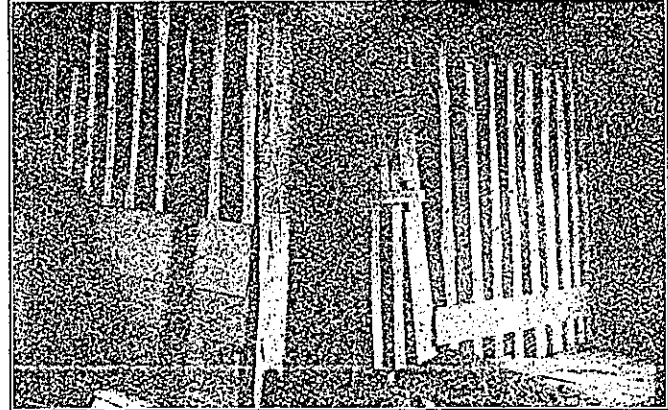
監護義務者 子、茂○郎。 資産、監護義務者ハ幼年ニシテ無資産ナルヲ以テ、被監置者ノ從兄○○之ヲ扶養ス。 監置ノ時日、明治四十三年三月一日監置ヲ許可セラル。 監置ノ理由、夫ノ死亡後、生計困難ノ爲メ發病シ、外出徘徊アリ、不潔症アリタリト云フ。 監置ノ場所、前記ノ住所ニ在リ、嘗テ被監置者ノ住家タリシモノナレドモ、今ハ廢屋トナリ、壁落チ、軒傾キ、雨戸モ多クソノ用ヲナサズ。 監置室ハ間口九尺・奥行六尺・高サ六尺アリ。天井及ビ南東ノ二面ハ一尺廻リノ丸太。西北ノ二面ハ徑五寸ノ粗削リノ木材ニテ、間隔五寸ノ格子ヲ作り、之ニ幅五寸・厚サ五分ノ横貫三

す。明治二十年十二月二十一日生。

例一十八第 (號四十五第) 圖附



例一十八第 一其 眞寫 (號八十四第)



例一十八第 二其 眞寫 (號九十四第)



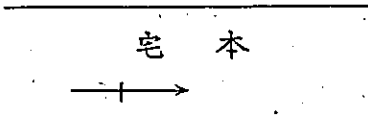
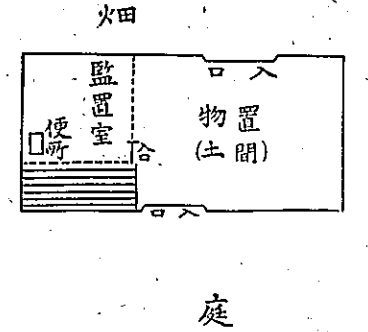
本ヲ貫ク。北側ニハ三尺ノ高サマテ腰板ヲ張レリ。牀ハ厚サ五分ノ板張ニシテ、牀ノ高サ一尺五寸ナリ。室ノ東南隅ニ幅五寸・長サ一尺ノ排便口アリ。入口ナシ。四側北寄三人ノ幅ニテ三尺ノ高サニ三寸角・長サ三尺ノ木材ヲ横ザマニ釘ニテ打附ケアリ。此部ニ於テ格子ハ上下ニ斷タレ居リ被監置者ヲ室外ニ出スニハ此横木ヲ振テ離スノ外ナシ。監置室ノ前面ニハ古畳ヲ積ミ上ケ、之ニ隣リテ古畳網アリ、破レタル機蓋アリ。土間ニハ從兄カ收養セル馬齡驛ヲ

、盛りアリ一種ノ穢臭キ臭氣ハ鼻ヲ撲チ、塵芥ハ板牀ニ堆ク積マレ、ソノ光景ノ慘澹タル久シク之ヲ正視スルニ堪ヘズ。 病狀、被監置者ハ憔悴・骨立シテ身ヲ被フベキ衣ダニナク、僅ニ腰巻一枚ヲ纏ヒテ、木梳ヲ以テ類ニ牀板ノ間ヨリ牀下ノ土ヲ掘ヒ上ゲ、之ヲ入口ノ邊ニ積ム。 家人ノ待遇、偶々從兄ノ如ヨリ歸リ來リテ之ヲ制スルヲ聽クニ、斷罵刺ス所ナク、殆ド死ノ速ナルヲ冀フモノ、如シ。 冥庭ニハ、尿ト土トニ穢レタル蒲團ヲ乾シアルヲ見ル。洗濯ナク。運動ナシ。入浴ハ三箇月ニ一回位ノ割合ニ之ヲ行ハシム。 警察官ノ視察、警察官ハ一箇月一回位巡廻スト云フ。 被監置者ノ給養ハ極メテ薄クシテ殆ドソノ生ヲ保ツニ難カラントス。況ヤ採光・換氣ヲヤ。又況ヤ防寒・防濕ノ設備ヲヤ。其悲惨ナル光景ハ視察例中稀ニ見ル所ニ屬ス。

第八十二例 ○○縣○○郡○○田村○○町○○十九番地。平民。鐵道員。○之助男(家計ノ主ナル職業ハ農。長○龜○。二十三歳。

監護義務者、父、長○庄○助。 資産及ビ生活程度、田地約一町五反ヲ有シ、農家トシテ相當ノ生活ヲナス。 監置ノ時日、明治四十三年一月。

例二十八第 (號五十五第) 圖附



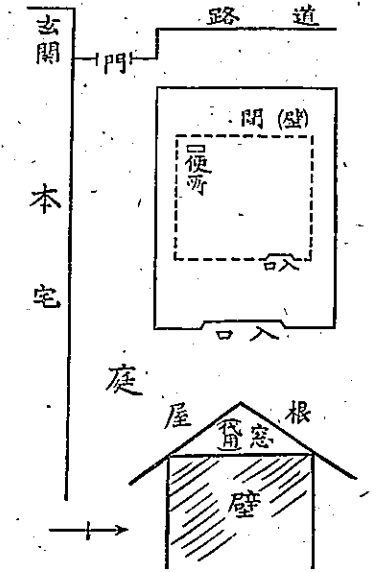
ズ天井及ビ西南兩側ハ板張トナシ、東及ビ北側ハ一寸角材ヲ用ヒ柵ヲ造レリ。便所ハ室ノ東南隅ニ造リ、抽斗装置ニナシテ掃除ニ便宜ナラシム。洗面所ノ設備ナシ。 家人ノ待遇、看護ハ主トシテ嫂ト父ト之ニ當ル、三食ハ椀ニテ與フ。運動ニ連レ出スコトナシ。被監置者ハ平素、洗面セズ、衣服蒲團等ヲ破棄シ、且ツ糞尿ヲ以テ之ヲ汚染スルガ故ニ、家人ハ晝間之ヲ乾カン、夜間之ヲ與フト云フ。毎日午後(夏期)ニハ農事ノ休息時ニ一回宛行水ヲナサシム。 病狀、被監置者ハ與舊狀態ニ在リテ裸體ナリ。 醫藥、主治醫ナク、服藥セズ。 警察官ノ視察、受持巡査ハ毎月二回以上巡視ス。 監置室ヲ設クルニ物置ヲ選ビタレバ、採光・換氣等不真ナルモ其本宅トモ併キ農家ニシテ草莽ノ粗末ナル家ニ住シ居ル有様ナレバ、其生活程度ヨリ推セバ監置室ノ不完全ナルモ、已ムヲ得ザルモノナルベシ。家人ノ待遇ハ親切ナルモ、手不足ニシテ十分ナルコトヲ爲シ得ザルモノ、如シ。

第八十三例

〇〇縣〇〇市〇町千〇百〇十〇番地。(醫師)千〇郎弟、小學校教師。堀〇〇重。三十六歲。

六八

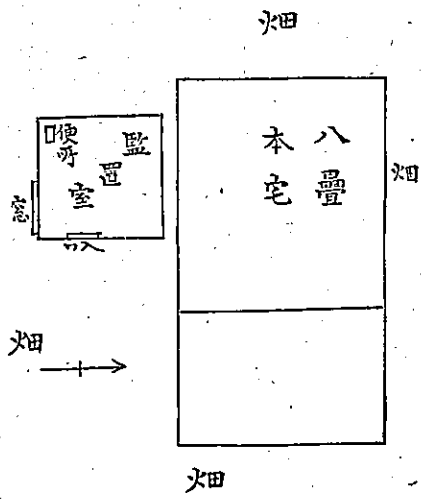
(號六十五第)圖附 例三十八第



間口一間半・奥行二間ノ物置棟ノモノヲ造リ、其内部ニ監置室ヲ造レリ。

監置室、廣サ一坪・高サ六尺・牀下一尺弱。室ノ周圍ハ一寸五分角材ニテ木柵トセリ。天井及ビ牀ヲ板張トナス。物置棟ノ建物ハ東ニ半間ノ入口アルノミニシテ窓ナク、軒ト屋根トノ間ニハ壁ナク唯其間ニ生ズル蟻蟻ニ依リ採光・換氣ヲ謀ルモノニテ其構造甚不完全ナリ。猶、障子又ハ戸ノ備ヘ無キヲ以テ寒氣及ビ風雨ニ對スル防備ハ全ク之ヲ缺ク。便所ハ室ノ西南隅ニアリテ牀下ニ便器ヲ置キテ掃除ニ便ニス。洗面所ノ設備ナシ。病狀、被監置患者ハ興奮状態ニアリテ吐唾・脫糞等ノ不潔症アリ。家人ノ待遇、老母一人ニテ看護スルモノナレバ、萬事行届カズ。蒲團ノ支給無ク、唯牀上一枚ノ草蓆ヲ與フルノミ。三食ハ握飯ヲ作りテ與フ。運動ニ出ダスコト無シ。月二回人足ヲ行水ヲ使ハシメ監置室内ヲ掃除セシム。醫藥、主治醫無ク、服藥セズ。警察官ノ觀察、所轄警察署ヨリ警察官毎月二回以上巡視ニ來ル。監置室ノ構造・設備等甚不完全ナリ。採光・換氣十分ナラズ。興奮セル被監置者ヲ看護スル者ハ老母セル母ノミナレバ、行届ケル處置ヲ爲スコトヲ得ズ。

(號七十五第)圖附 例四十八第

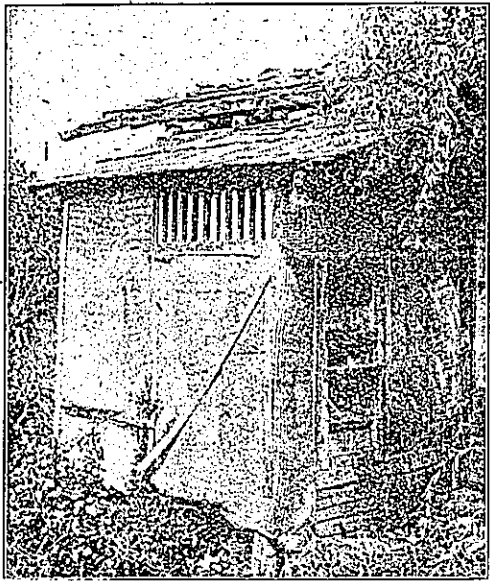


第八十四例

〇〇縣〇〇市〇村千〇百〇十番地。〇郎弟、學生。〇山〇爾。四十三歲(死亡)。

監置室、廣サ一坪・高サ六尺・牀下一尺弱。室ノ周圍ハ一寸五分角材ニテ木柵トセリ。天井及ビ牀ヲ板張トナス。物置棟ノ建物ハ東ニ半間ノ入口アルノミニシテ窓ナク、軒ト屋根トノ間ニハ壁ナク唯其間ニ生ズル蟻蟻ニ依リ採光・換氣ヲ謀ルモノニテ其構造甚不完全ナリ。猶、障子又ハ戸ノ備ヘ無キヲ以テ寒氣及ビ風雨ニ對スル防備ハ全ク之ヲ缺ク。便所ハ室ノ西南隅ニアリテ牀下ニ便器ヲ置キテ掃除ニ便ニス。洗面所ノ設備ナシ。病狀、被監置患者ハ興奮状態ニアリテ吐唾・脫糞等ノ不潔症アリ。家人ノ待遇、老母一人ニテ看護スルモノナレバ、萬事行届カズ。蒲團ノ支給無ク、唯牀上一枚ノ草蓆ヲ與フルノミ。三食ハ握飯ヲ作りテ與フ。運動ニ出ダスコト無シ。月二回人足ヲ行水ヲ使ハシメ監置室内ヲ掃除セシム。醫藥、主治醫無ク、服藥セズ。警察官ノ觀察、所轄警察署ヨリ警察官毎月二回以上巡視ニ來ル。監置室ノ構造・設備等甚不完全ナリ。採光・換氣十分ナラズ。興奮セル被監置者ヲ看護スル者ハ老母セル母ノミナレバ、行届ケル處置ヲ爲スコトヲ得ズ。

(號十五第)眞寫 例四十八第

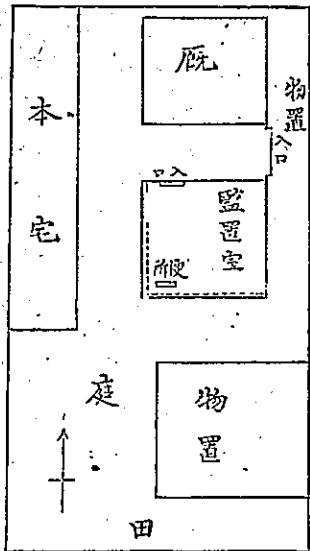


被監置者死亡後ナルヲ以テ監置室ノミヲ觀察セシモノナリ。忠家ニハ資産ナク、監置室ノ構造・採光・換氣甚不完全ナリ。

第八十五例

〇〇縣〇〇郡〇〇村字南〇〇二〇五番地。平民。〇吉妹、農業兼運送業。藤〇だ〇。三十七歲。監置ノ時日、明治四十一年七月。監置ノ理由、明治三十八年夫ト和合セザル爲メ離婚セシ以來戸外ヲ徘徊シ、遠ク〇〇市ニ至リタルコトアリ、他人ト爭論シ又ハ村役場ニ至リテ復籍ヲ迫リ、或ハ通行人ニ亂暴セルコトアリシタメ監置シタルナリ。監置ノ場所、本宅ヨリ數間隔リタル物置ノ壁ヲ利用シテ監置室ヲ建設セリ。監置室ト相對シテ厩アリ。其間僅ニ一間餘ニシテ其間ニ飼料ノ草ヲ堆積セリ。監置室ハ廣サ一坪・高サ六尺餘ニシテ、牀下一尺ニ足ラズ。四壁ハ一寸五分角ノ木柵トナシ、東側ハ物置ノ壁ニ接シテ外覆ナキヲ以テ風雨ヲ防ガン爲メニ南及ビ西ノ兩側ハ木柵ノ上ヲ板張リトナシテ、葎ヲ掛ケタリ。天井モ亦木柵ニシテ其上ヲ葎ニテ覆ヒ、其上ニアル物置ノ底ヲ利用シテ屋根トセリ。牀

例五十八第 (號八十五第)圖附



ハ板張ニシテ此ニ葎ヲ敷ケリ、採光・換氣ハ甚不良ナリ。便所ハ西南隅ニアリ。洗面所ノ設備ナシ。室内不潔ナリ。家人ノ待遇、主ナル看護者ハ姉ナ

六九